

令和 2 年度
日野市立図書館の運営の
状況に関する評価書

(令和元年度事業)

くらしの中に図書館を
本と出あい、人と出あう
「知のひろば」が
地域の文化を創る

令和 2 年 9 月
日野市立図書館

目次

1	はじめに.....	1
2	評価の目的.....	1
3	図書館の現状.....	1
	（1）施設.....	1
	（2）組織・職員.....	1
	（3）主な業務.....	1
4	評価の実施方法.....	2
5	評価の対象.....	2
6	評価の結果.....	2
	《図書館協議会の総括的意見》.....	2
	《図書館の自己評価》.....	6
	○第3次日野市立図書館基本計画（基本理念・基本方針）／令和元年度主要事業.....	8
	○令和元年度主要な取り組み（主要事業）／図書館基本計画に基づく令和元年度重点的取り組み内容	9
	○各取り組み評価表.....	11
	＜参考資料＞	
	I．図書館事業のあらまし.....	51
	II．日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱.....	62
	III．図書館協議会委員名簿.....	63

1 はじめに

平成 20 年 6 月に「図書館法」が改正され、図書館の運営の状況に関する評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めること、また、図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならないこととされました。

そのため、図書館では、平成 21 年 3 月 31 日に、「日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱」を制定し、平成 21 年度から図書館の運営状況に関する評価を開始しました。

2 評価の目的

この評価は、図書館の運営状況に関する情報を積極的に提供することにより、市民・利用者やその他の関係者との理解を深め、連携及び協力を推進し、市民・利用者に信頼される効果的な図書館運営の推進に資することを目的に行います。

この目的遂行のため、図書館は毎年 1 回、運営状況について評価を行い、その評価に関する報告書を毎年作成し、教育委員会に提出するとともに、市民に公表することとしています。その評価結果に基づき図書館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めていきます。

3 図書館の現状

(1) 施設

施設の名称	延べ床面積	現館の開館日	所在地	蔵書数
中央図書館	2,220 m ²	昭和 48.4.28	豊田 2-49-2	333 千冊
移動図書館	1 台 (21 駐車場)	昭和 40.9.21	同上	35 千冊
高幡図書館	1,358 m ²	昭和 55.5.11	三沢 4-1-12	102 千冊
日野図書館	422 m ²	昭和 55.5.18	日野本町 7-5-14	58 千冊
多摩平図書館	856 m ²	平成 16.4.1	多摩平 2-9 多摩平の森ふれあい館 1 階	126 千冊
平山図書館	412 m ²	平成 20.4.5	平山 5-18-2 平山季重ふれあい館 1 階	67 千冊
市政図書室	140 m ²	昭和 52.12.1	神明 1-12-1 日野市役所 1 階	50 千冊
百草図書館	759 m ²	平成 2.11.16	百草 204-1 ガーデンビュー石神 D2 階	73 千冊

(2) 組織・職員 ※令和 2 年 3 月 31 日現在

3 係 (庶務・業務・奉仕)、6 分館
正規職員 32 人 (うち司書 26 人)
再任用職員 5 人 (うち司書 3 人)
嘱託職員・臨時職員 (年 1500 時間換算) 41.2 人

(3) 主な業務

- ・図書館資料の収集、整理及び保存
- ・個人貸出、団体貸出
- ・読書案内及び読書相談
- ・レファレンス
- ・図書館資料の図書館間相互貸借
- ・市内の学校への資料提供と支援
- ・地域・行政資料の収集・提供・保存
- ・読書会、研究会、講習会、展示会等の主催及び奨励
- ・館報その他の読書資料の発行及び頒布

4 評価の実施方法

評価の対象事業について、図書館の活動実績・自己評価を、図書館協議会に報告し、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため事業説明会を実施せず、代わりに定例協議会において概要説明をしました。それに対し図書館協議会委員の意見をいただき、評価を行いました。

5 評価の対象

令和元年度主要な取り組み（主要事業）の3事業及び「第3次日野市立図書館基本計画」の基本方針の下での重点的な取り組みから抽出した、下記24事業について評価を行いました。

○令和元年度主要な取り組み（主要事業）

【中央図書館リニューアル】

【子どもの読書活動の推進】

【デジタルアーカイブの導入】

○図書館基本計画に基づく令和元年度重点的取り組み内容

1. 地域の文化を創る拠点となる図書館をめざします
 - 【地域・行政資料の収集・提供・保存】
 - 【市民に役立つ情報の提供】
 - 【市民の図書館活動・運営への参加】
 - 【地域で活動する団体との連携】
 - 【関係機関との連携】
2. 市民が気軽に立ち寄ることができる交流や憩いの場となります
 - 【くつろげる「居場所」としての環境の充実】
 - 【本を通じた出会い、交流の機会を創る取り組み】
3. 市民の読書活動を推進します
 - 【本と出あうきっかけづくりの拡充】
 - 【子どもが本に親しむ機会を創り、拡大する取り組み】
4. 全ての市民に図書館サービスを提供します
 - 【図書館サービスのていねいな説明】
 - 【利用につながる図書館情報の発信】
 - 【移動図書館ひまわり号によるサービスの充実】
 - 【多様な利用者へのサービスの拡充】
5. 現在および未来の市民が求める資料・情報を収集・提供・保存します
 - 【資料・情報の収集】
 - 【資料・情報の保存】
 - 【資料・情報の提供体制の充実】
 - 【読書案内・レファレンスサービスの充実】
6. サービスを提供する基盤を整備します
 - 【施設の保持・保全】
 - 【ICT化の推進】
 - 【職員の育成】
 - 【市民とともにすすめる図書館運営の推進】

6 評価の結果

《図書館協議会の総括的意見》

○令和元年度主要な取り組み（主要事業）

I 中央図書館リニューアル

中央図書館リニューアルの一環として耐震補強工事が実施された。今回の工事は、適切な改修工事であったと認められる。

工事期間中、利用者へ影響が出ないような配慮がなされ、休館日を少なくし、中央図書館の歴史を感じる外観を損なわない形で工事が実施出来たことは市民として嬉しく思う。

トイレについても快適な設備に一新することができた。この機会に東京都の補助金「ユニバーサルデザインのまちづくり緊急事業」を上手く活用したことは、図書館職員の努力が感じられ、またトイレの

改修はバリアフリーの観点からも評価できる。だれもが利用しやすいトイレが設置されたことで、高齢者や障害がある方の利用が増えることを期待したい。

このタイミングで実施できたことはタイムリーだったと思う。令和2年2月に日野市では財政非常事態宣言がされ、建物など大規模な工事は当面厳しくなると予想されるが、図書予算を中心に市民サービスの充実を継続することを十分に市民へPRし、いつしかリニューアルが完成することを希望する。

Ⅱ 子どもの読書活動の推進

第4次子ども読書活動推進計画の策定においては、第3次計画の検証を図書館だけでなく、関連する各部署に幅広く実施し、様々な立場からの課題を洗い出せたことや、市民委員を含む幅広い分野の関係者16人による第4次日野市子ども読書活動推進計画策定委員会を中心に計画が策定されたことをまず評価したい。さらに「計画書」における活動紹介は良い方法である。発達・教育支援センター（エール）にて行われたひまわり号での貸出等、連携を深め、子どもや保護者のニーズを直接知る機会を設けたことなども評価したい。3つの基本理念や基本方針が実現できるよう今後もこの活動に積極的に取り組むことを期待する。策定委員会は解散しても委員の方には引き続きフォローアップや協力をお願いしたい。

計画は策定後こそが肝要である。計画の進捗状況が見える化し、広く共有できるよう、何らかの手立てが必要と考える。この取り組みを社会、市民へ伝えることが今後の課題である。社会全体でこの取り組みを推進するためにも必要である。計画策定において洗い出された課題をしっかりと生かした上で、策定された内容が現代の社会状況に見合う形で実現されていくことが期待される。

乳幼児へのサービスとして、健康課や乳幼児関係機関と協力した、子どもとその保護者への読書推進・読書環境整備は大切な活動である。ママパパクラスに図書館の男性職員が積極的に出向いたことで、特にこれから「パパ」になる方には、本を通じて子どもと触れ合うことの可能性に気が付いてもらえたのではないかな。これからはテレワークなども増える中、「ママ」や「パパ」が、絵本を手にと子どもと過ごす機会を持てるよう希望する。また、子育て世代への情報発信は、紙のちらしや冊子だけではなく、ホームページでも見られるよう工夫も必要である。

小中学生へのサービスにおいて重要なことは、いかに彼らの自主性・主体性を引き出すサービスになるかである。図書館からの一方的なサービスに終始するのではなく、児童生徒の主体的参加を組み込んだ活動にできないだろうか。各種「おはなし会」、「本の森学級文庫」等に彼らに主体的参加ができるような工夫をしてほしい。「ジュニアスタッフ事業」もその観点からの検討が望まれる。

令和元年度より学校司書3名が配置された。このことを評価するとともに市政協力員への支援の充実、司書教諭連絡会など関係者との協力活動にも取り組んでいただきたい。

図書館で待つだけでなく、学校や学童クラブに出向いていくことは、図書に興味がない子どもへのアプローチになっている。中学生と作家の交流事業などの取り組みなど、わくわくする事業も多く、子どもたちにとって図書や図書館が身近なものになっているのではないかな。今後も継続していくとともに、例えば本好きな小学生と中学生が本を通じた交流の場を持てるような企画も検討してはどうか。

青少年へのサービスでは、ヤングスタッフの増加は、喜ばしい限りであり、今後の活動の発展に期待する。大学でのビブリオバトルなど、面白い取り組みであり、ヤングスタッフと実践女子大学学生とが交流するなど、お互いに刺激しあいながら読書経験を増やすことは貴重な体験になると思う。ジュニアスタッフや中学生と作家の交流事業に参加した生徒とのつながりをその後も継続して、ヤングスタッフへと繋げられると良い。

ヤングスタッフを主体にした青少年へのサービスは日野市立図書館の特徴の一つである。単なる同好会的な活動に終わらず、自分達の活動が他者にどう作用するのか、どう役に立つのかを実感し、彼らの人間形成に意義ある活動になることを期待する。なお、ヤングスタッフの名称を見直すことも検討してはどうか。

学校支援では、学校搬送の増は良いことだが資料の充実もはかってほしい。本の森学級文庫の整備が促進されたことを評価し、今後の継続した取り組みを期待する。今回のコロナ禍の経験を踏まえ、閉校中のオンライン学習などと合わせ電子図書の閲覧など今後の課題も検討願いたい。今後システムの新たな機能の活用により、職員の作業軽減、仕事の効率化2つの観点からペーパーレスがはかれることを期待する。

Ⅲ デジタルアーカイブの導入

デジタルアーカイブの導入として、令和元年度は納本制度ガイドライン検討とデジタルアーカイブの公開に向けた準備が行われた。地域・行政資料は住民自治の観点から必要な資料であり、補助金を確保して、着実にデジタルアーカイブが導入されることは非常に重要な事業だと思う。また、アーカイブにも視野を広げた市刊行物の納本制度を目指す点も評価できる。他の地域の図書館からは決して借用できない、地元地域に関する資料のデジタル化は地域図書館としての重要な任務であり高く評価する。いま現在、具体的な要求はなくとも、いつか、きっと誰かの役に立つ。デジタル化資料を広く周知することが必須である。今後どう保存するか将来計画も具体的にしてほしい。

○図書館基本計画に基づく令和元年度重点的取り組み内容

1 地域の文化を創る拠点となる図書館をめざします

いずれの取り組みも、地域の文化の拠点である図書館の大切な役割である。市民が自分の住むまちに対する愛着と誇りをもつきっかけになると同時に、文化の拠点としての図書館の役割を改めて認識することになるだろう。

これら活動を広く PR することが必須である。

図書館が積極的に地域・行政資料を収集していること、各地域館が地域に根差した情報の窓口として資料収集提供をしている点が評価できる。各地域館が地元住民と協力して周辺地域の貴重な資料を発掘・保存することはユニークな活動だと思う。図書館業務の多様さと地域における図書館の存在意義を改めて感じた。

情報コーナーの設置は、ニーズも考えながら利用者の立場に立った大切な取り組みである。情報を分け合う場として、チラシ等を配布することは評価するが、今はチラシを持ち帰らず写真を撮って帰る方も多いので、掲示の工夫も必要だと思う。

地域で活動する団体との連携では、近くの施設との協力や前年度に引き続き連携が継続されている点は評価できる。さらに連携の広がりを目指してほしい。日野図書館の日野宿発見隊はとても良い先例であり、様々な企画を評価し、とくに祝日野駅開業130周年の写真展はよい企画であった。だが、他の図書館もいいアイデアがないか検討してほしい。

集会室は単なる貸室事業にならないように、市民とともに学びの場となることを期待する。〈まちゼミ〉への取り組みは評価したい。今後も様々な団体との連携を期待する。

関係機関との連携では、様々な機関との協力が多くなってきている。多忙とは思いますが、地域を知り、サービスへと続くと思う。地域の状況に合わせて柔軟な展開を示しており、特に百草図書館を注目したい。各図書館が地域の人に気軽に利用してもらうことはよいことである。何かイベントをする場合、一部商売になっても（例、地ビール販売など）柔軟に対応できるとよい。大学との連携は更なる取り組みを期待する。大学祭にひまわり号が出張したことを評価する。さらに市民フェアなどの多世代が集まるイベントにも出張してはどうか。ひまわり号の PR になり、日野市＝ひまわり号のイメージがさらに深まり愛着も沸くのではないかな。周辺自治体との相互利用については更なる周知を期待する。

2 市民が気軽に立ち寄ることができる交流や憩いの場となります

くつろげる「居場所」としての環境の充実では、工夫を重ねていることを評価する。前年度の課題点について一定の改善が行われたことは評価できる。コロナ禍が落ち着いたら、改めて今回の経験を参考に「居場所」のありかたも検討してほしい。限られた予算の中での設備改善は大変だと思うが、職員が知恵を出し合い、さらなる環境の充実に努めて欲しい。

本を通じた出あい、交流の機会を創る取り組みでは、様々な展示・ミニ展示・コーナー作りと本の紹介のきっかけ作りを期待する。本を通じて利用者相互の交流を深めるという取り組みを高く評価する。先に図書館ありきではなく、市民・利用者が図書館の主人公という姿勢が顕著であり、日野市立図書館創立の理念に通じるものであろう。読書会の工夫も評価できる。小中学生の利用につながる取組をさらに強化してほしい。図書館職員が市民の中に入っていく活動は大変だと思うがトライを続けてみてほしい。

百草図書館で行われた「あなたのぐつときた一文」募集でのつながりは、直接会うことなしにつながれる工夫でもあり、新しい生活様式にも合うので今後も続けてほしい。図書館主催から市民主催へと、より一層本を通じた市民同士の交流が広がると良い。

3 市民の読書活動を推進します

地域館がお互いの企画を参考にしながら、本と出あうきっかけづくりが拡充することを期待する。地域館ごとに特色のある展示も利用者には魅力的である。さらに取組みを広げてほしい。図書館報「ひろば」とともに図書館ホームページの利用も工夫できるのではないだろうか。図書館ホームページへの毎月の各館テーマ展示資料の公開は良い取り組みだと思う。足を運んでみたくなるような広報・発信が出来るとうい。

小中学生・ヤングスタッフを交えた取り組みは、同世代が選ぶ本には興味を持ちやすく、同世代へのアピールにもなり評価できる。

子どもが本に親しむ機会を創り、拡大する取り組みでは、様々な活動を行っているが、特に百草図書館での子どもたちのポスター作りは良い企画だと思う。中央図書館リニューアルに伴う児童室の2階への移設は今後を注視したい。

4 すべての市民に図書館サービスを提供します

図書館サービスのていねいな説明では、図書館報「ひろば」をある新聞店で見た。配布の努力を評価する。一方、今回のコロナ禍で経験したのは行政のICT化の遅れである。費用の問題もあるが図書館も積極的に取り組んでもらいたい。

利用につながる図書館情報の発信では、さらに未利用者に伝える取組みを強化してほしい。図書館報「ひろば」やチラシなどは、自ら情報を取りにいかねばならないものなので、メディアやSNSを使い、流れてくる情報をキャッチさせるような工夫が必要だと思う。もちろんあらゆる市民に情報が届くよう、紙ベースとホームページ両方での発信も続けてほしい。

移動図書館ひまわり号によるサービスの充実では、積極的な活動を評価する。さらに、旭が丘地区センターのサービス展開には注目をしている。利用者本位のサービス改善・充実策は評価できる。ボランティアの読み聞かせ活動と一緒にすることで、ひまわり号を拠点とした場づくりが可能になり、地区センター等各地区で広げていただきたい。巡回・宅配も非常に重要な事業である。利用の促進やボランティアスタッフの充実等につながる施策を期待する。石田地区公共施設への新規巡回に向けて、準備段階から会議に参加しているという図書館職員の熱意も評価したい。

多様な利用者へのサービスの拡充では、利用増を大いに評価するが、さらに「知ってもらおう」努力を。困難を抱えている方への配慮は、その方になってみないとわからないこともあり難しいと思うが、研修を重ねてぜひサービスの拡充に取り組んでほしい。宅配サービスは、図書館に行きたくても行けない市民にとっては、とても有難いサービスであり、今後ボランティアの方々もサービス利用者も増えることを期待する。

5 現在および未来の市民が求める資料・情報を収集・提供・保存します

選書基準の完成が近いことを評価する。情報収集し、検討を重ねてほしい。電子書籍の導入は、今後が気になるところである。障害がある方への合理的配慮、またウィズコロナ対策としても、前向きに検討してほしい。

書庫への保存は、資料をテーマ展示にも活用するなど、スペース不足とは思いますが努力を期待する。

新たにメールによる督促を始めたことを評価する。返却本のメール督促の効果を検証し、速やかに返却されるよう様々な方法を検討してもらいたい。

読書案内・レファレンスサービスの更なる充実を期待する。テーマ展示資料が貸出に結び付いている点は、読書案内の目的を達成しており評価できる。図書館ホームページの「こどもページ」や、「しらべようひの」のPRがもっと必要ではないか。せっかく素敵なコンテンツが埋もれてしまいもったいない。子どもの調べる力の向上のために、今後も学校との連携・支援をお願いしたい。

6 サービスを提供する基盤を整備します

施設に対する防火対策、保守・修繕等を確実にしていることは適正である。セキュリティ対策への取り組みも評価できる。

職員の育成の点では、研修で学んだことが、接遇に表われることを期待する。魅力ある図書館をつくるために、職員研修は不可欠であり、重要な取り組みであるのでさらに継続して取り組んでもらいたい。司書の専門性や職員の能力、資質の向上だけでなく、一人ひとりの意欲が実践へと生かされるように願う。

市民とともにすすめる図書館運営の推進では、運営評価表の内容など評価できるが、さらに市民にわかりやすい評価表を模索してほしい。令和2年度は新型コロナウイルスの関係で、スケジュールが遅くなっているが、今後は運営検討報告書の検討を行う必要がある。

市民参加型の事業が多く各図書館温かみを感じる。一人ひとりとの出会いを大切にし、発展させることが、図書館の未来だと思う。地域館がそれぞれの立地や地域の特性に配慮して各種取り組みを行っている点が大いに評価できる。まさに地域の中で本や学びを分け合う場となっていると感じた。これからも市民の文化を創る拠点となるようさらなる活躍に期待している。

〇まとめとして

令和元年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により多くの図書館で休館や利用制限を行う中、日野市では開館に努力した。しかし、集会室の利用中止、おはなし会など様々なイベントが延期・中止となった。

様々な意見があったであろうし、毎日方針が変わることもあったであろうが、感染しないようお互い気をつけながら令和元年度内開館できたことは、利用する方々を含め冷静な対応を行ったからであろう。

一方、日野市では3月3日からの一斉休校になると、不安と共にどうなるのかという混乱が重なり、先が見えないという不安があったが、来館した子どもたちの姿や、多量に貸出をする人を見かけると、今こそ読書をしようという人も多かったのではないだろうか。この時期の貸出利用やリクエストの利用の増加もあったのではないか。

中央図書館は耐震工事と共に長年の課題であった一階トイレの改修工事が行われた。快適で、バリアフリーとなり、施策効果として大であり、評価したい。さらにサービス拡大となるリニューアルが将来実施できることを願っている。

また、令和元年10月より消費税が8%から10%になった。本の定価上昇や、消費税の増により、同額の図書費で購入する冊数が少しずつ減少していないだろうかという心配をしている。「市民の期待に応え、要求を高め 広げる」意義を考えると、サービスのもとになる図書費の増額を望みたい。

図書館協議会としては、令和2年度は「運営検討報告書（第5次日野市行財政改革大綱実施計画に基づく検討報告書）」と今までの「サービス実績」についての意見交換を行いたいと考えている。

《図書館の自己評価》

【中央図書館の耐震補強工事を実施】

中央図書館は、昭和48年（1973年）4月に開館し、令和元年度（2019年度）は47年目となる建物である。平成26年度（2014年度）に耐震診断を受け、補強が必要との結果が出た。

中央図書館の建設は、基本方針の一つとして、「市民が文化を育てる拠りどころとして、歳月を経るほど美しくなる建物であること」を掲げ、建築家・鬼頭梓氏による設計は、図書館の役割を建物で表すものとして日本の公共図書館建築のモデルとなった。平成27年度（2015年度）には、近代建築等の調査・保存のための国際組織 DOCOMOMO の日本支部 DOCOMOMO JAPAN により、残すべき近代建築に選定されている。

日野市公共施設等総合管理計画において、設備を含む建物全体における経年劣化の改修や機能・サービス向上のため、耐震補強工事および大規模改修を実施することにより長寿命化を図る、となり、安全確保を優先してまず耐震補強工事を実施することとした。

補強工事は、建物の外観や図書館機能をできる限り損なわない方法を採用し、建物外側の一部にアウ

トフレームを設置、館内のコンクリートブロック壁の改修補強、耐震上重要な耐力壁のひび割れ補強を行った。市民から最も目につく場所としては、コンクリートブロック壁を使用していた1階トイレが全面改修となり、併せて洋式化・バリアフリー化もできた。このトイレ設備改修費用の一部は、東京都の補助金を活用させていただいた。

約半年間の工事期間中、図書館利用が継続できるよう、音や振動が大きい作業は休館日である月曜日に行い、月曜日と祝日が重なった3日間のみ、やむを得ず臨時休館とした。

また、改修のため利用不可となる書架の資料は利用が多く見込まれる分野であったため、館内の図書の配置を一時変更し、比較的利用頻度の少ない個人全集等を外部倉庫に移動し、利用の要望があれば取り寄せて資料の提供を継続した。

なお、中央図書館は、耐震補強工事に先立ち（7月）、埋設ガス管の更新修繕も行った。

工事が続く1年だったが、騒音等のご迷惑をおかけする近隣の方には、折々に状況の説明に伺い、ご理解ご協力を得ることができた。

【第4次日野市子ども読書活動推進計画を策定】

第3次計画が令和元年度で終了することを受け、これまでの成果と課題を踏まえ、子どもたち自らが、成長や興味に応じて本の楽しさを発見し、学び考え生きる力を育む機会を持てるよう、その環境の整備に取り組むことを目的に計画を策定した。

公募による市民委員2名、学識経験者1名のほか、保育園・幼稚園・小学校・中学校および子どもの読書に関わる行政機関の職員による16名で構成する策定委員会を設置し、6回の策定委員会を開催した。関連各部署への調査、市内小中学生への読書調査などから把握した、子どもの読書を取り巻く状況を、策定委員会にて共有し、活発な議論が行われた。素案作成後はパブリックコメントを行い、3名の方からご意見をいただいて、計画策定の参考にすることができた。

策定した計画は、基本理念を「本のむこうに きっとみつかる それぞれの未来」とし、基本方針は次の3つとした。①すべての子どもたちが、身近に本と出あえる環境づくり ②子どもたちが、自ら読書の楽しさを発信する取り組み ③子どもと本をつなぐ活動をする人たちが連携する仕組みの充実。

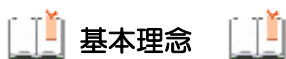
乳幼児期、小中学生、青少年という成長段階に合わせて、子どもたちに直接働きかける読書活動と、その活動を推進するための諸条件の整備、また子どもの読書を支える地域の活動の推進や、子どもの読書活動の大切さについて広く市民の関心と理解を深めるための普及・啓発について、計画期間5年間（令和2～6年度）に取り組むことを具体的に記載した。

令和元年度は、令和2年2月末より新型コロナウイルス感染症の影響が出始めた。中央図書館耐震補強工事終了記念に予定していたトークライブの延期や、館内滞在時間の制限（目安は30分）、集会室などの利用休止から、4月9日～6月1日の長期臨時休館をするにいたった。5月9日～19日の完全休館期間を除き、臨時窓口で一部貸出を行ったが、市民から様々な声をいただき、図書館の情報提供機能や、セーフティーネットとしての役割をより一層感じたところである。再開後には市民に読書調査を実施し、その結果はこれからの図書館運営に活かしていく。

新型コロナウイルス感染症へ対応すべく新しい生活様式が生まれたり、日野市は財政非常事態宣言を行ったりと、図書館を取り巻く環境は一層厳しいものとなったが、こういうときこそ図書館はどうあるべきか、地域の文化を創るために何ができるか職員一人ひとりが考え、地域の方や他部署・他機関の協力を得ながら市民に寄り添い、歩み続けたい。

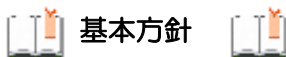
今回の評価や意見を受け、令和2年度は「第3次日野市立図書館基本計画」の基本理念〔くらしの中に図書館を一本と出あい、人と出あう「知のひろば」が地域の文化を創る〕の実現に引き続き取り組むとともに、令和元年度に策定した「第4次子ども読書活動推進計画」を推進する。

各事業における図書館の自己評価は、11ページ以降の評価表のとおり。



基本理念

くらしの中に図書館を
本と出あい、人と出あう
「知のひろば」が
地域の文化を創る



基本方針

基本理念の実現をめざし、以下の5つの基本方針をもとに施策の推進を図ります。

- (1) 地域の文化を創る拠点となる図書館をめざします
- (2) 市民が気軽に立ち寄ることができる交流や憩いの場となります
- (3) 市民の読書活動を推進します
- (4) すべての市民に図書館サービスを提供します
- (5) 現在および未来の市民が求める資料・情報を収集・提供・保存します

令和元年度主要事業

(1) 中央図書館リニューアル

- ・耐震補強工事の実施
- ・1階利用者用トイレの全面改修
- ・工事期間中も原則開館を継続

(2) 子ども読書活動の推進

- ・第3次日野市子ども読書活動推進計画の推進
- ・第4次日野市子ども読書活動推進計画の策定
- ・おはなしピクニック 2019 の開催
- ・中学生と作家の交流事業の実施
- ・子どもの読書に関するボランティア懇談会の開催

(3) デジタルアーカイブの導入

- ・市刊行物の納本制度のガイドラインの策定
- ・市刊行物の電子データを収集し、デジタルアーカイブで公開を開始

○令和元年度主要な取り組み（主要事業）

Ⅰ 中央図書館リニューアル		
1.	耐震補強工事の実施	P11・12
Ⅱ 子どもの読書活動の推進		
1.	第4次子ども読書活動推進計画の策定	P13
2.	乳幼児へのサービス	P14
3.	小中学生へのサービス	P15
4.	青少年へのサービス	P16
5.	学校支援	P17
Ⅲ デジタルアーカイブの導入		
1.	納本制度ガイドライン策定・デジタルアーカイブの公開	P18

○図書館基本計画に基づく令和元年度重点的取り組み内容

1 地域の文化を創る拠点となる図書館をめざします		
(1)	地域・行政資料の収集・提供・保存	
	■地域・行政資料の収集提供保存 ■市政図書室の機能充実	P19・20
(2)	市民に役立つ情報の提供	
	■情報コーナーの設置 ■パスファインダーの作成と配布	P21・22
(3)	市民の図書館活動・運営への参加	
	■ボランティア活動の支援	参照 4-(4)
(4)	地域で活動する団体との連携	
	■日野宿発見隊の活動支援	P23
	■地域で活動する団体・サークルの活動支援 ■企業・商店等との連携	P24
(5)	関係機関との連携	
	■大学図書館との連携	P25
	■周辺施設との連携	P26・27
	■周辺地域との連携	P28
2 市民が気軽に立ち寄ることができる交流や憩いの場となります		
(1)	くつろげる「居場所」としての環境の充実	
	■設備の改善・充実 ■ニーズに応じた多様なスペースの確保	P29・30
(2)	本を通じた出会い、交流の機会を創る取り組み	
	■おすすめ本の紹介 ■各種イベントの拡充	P31・32
3 市民の読書活動を推進します		
(1)	本と出あうきっかけづくりの拡充	
	■ポップ、ポスター展示、図書館報「ひろば」等による本の紹介 ■テーマ展示の実施	P33・ 34・35
(2)	子どもが本に親しむ機会を創り、拡大する取り組み	
	■子どもが利用しやすい環境整備	P36・37

4 すべての市民に図書館サービスを提供します		
(1)	図書館サービスのていねいな説明 (2) 利用につながる図書館情報の発信	
	■図書館サービスの PR ■利用案内の作成・配布 ■未利用者向けチラシの作成・配布 ■様々な媒体を活用した広報・周知活動	P38
(3)	移動図書館ひまわり号によるサービスの充実	
	■個人・団体貸出の実施 ■運営方法の検討 ■新システム導入によるサービスの拡充	P39
(4)	多様な利用者へのサービスの拡充	
	■図書館の利用に障害がある方へのサービス	P40
	■高齢者へのサービス	P41
	■外国人へのサービス	P42
	■様々な環境や要因により、図書館を利用しにくい人へのサービス	P43
5 現在および未来の市民が求める資料・情報を収集・提供・保存します		
(1)	資料・情報の収集	
	■蔵書の充実 ■オンラインデータベースの充実 ■電子書籍の検討	P44
(2)	資料・情報の保存	
	■資料の保存、除籍	P45
(3)	資料・情報の提供体制の充実	
	■ニーズにすばやく対応できる貸出体制の充実	P46
(4)	読書案内・レファレンスサービスの充実	
	■読書案内・レファレンスサービスの PR ■レファレンス資料の充実 ■子どもの調べる力の向上	P47
6 サービスを提供する基盤を整備します		
(1)	施設の保持・保全 (2) ICT 化の推進	
	■老朽化対策・防災対策の推進 ■セキュリティの強化	P48
(3)	職員の育成	
	■研修体制の構築	P49
(4)	市民とともにすすめる図書館運営の推進	
	■図書館運営の点検・評価 ■図書館の運営方法の検討	P50

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	【主要事業】Ⅰ－１．中央図書館リニューアル
事業の概要	「中央図書館リニューアルプラン」の一環として、平成26年度に行った建物の耐震診断結果に基づく中央図書館耐震補強工事を実施した。これにより、建物の耐震強度が増し、コンクリート壁の撤去と同時に行ったトイレの改修により、誰もが利用しやすい衛生的なトイレを実現することができた。工事期間は令和元年7月3日から令和2年3月6日。予算額82,095千円、工事契約金額は当初74,580千円であった。工事を進める中で、汚水桝の位置、1階トイレへの給水方法などの設計変更が必要な箇所が生じた。このため、契約額1,643千円の契約変更を行い、最終的には予算内76,223千円の工事費となった。 また、工事にあたって東京都の「ユニバーサルデザインのまちづくり緊急事業」による補助金を活用した。これは、1階トイレのうち和式トイレを洋式トイレに変更すること、女子トイレの機能充実に対して補助されるもの。補助金額は1,691千円
事業の成果	○工事の内容 ・建物北側壁面にアウトフレーム（梁、柱）を設置して補強した。意匠もできるだけ損なわない形での補強ができた。 ・構造壁のひび割れ補修、事務室側の外部階段も方杖による補強を行った。 ・1階カウンター内、2階市民資料室のコンクリートブロック壁の改修補強を行った。 ・1階トイレのコンクリート壁ブロックの改修補強を行うとともに、全面改修を実施し、これまで臭い等の苦情が絶えなかったトイレをリニューアルすることができた。利用者からは「きれいになったね」とのお声かけを多数いただいた。また開始日にはカウンターに「使ってもいいのですか？」と職員に断ってくる利用者も複数いた。 ○工事に伴い利用に配慮した内容 工事期間中の騒音等対策 ・大きな騒音が出ることが予想される工事は、できるだけ休館日の月曜日に行ってもらようよう、施工業者と調整をしてきた。 ・開館中も壁を壊す音などの騒音があったが、工事期間中であることの掲示をし、利用者に理解をお願いした。「なぜ工事期間中は閉館にしないのか」という苦情が2件のみであり、利用者にはおおむね理解していただいていたと考える。 ・周辺住人には、施工業者、市建築営繕課職員とともに一軒ずつ回って説明とあいさつを行った。工事期間中の苦情等はなかった。 ・粉塵は、施工業者が仮囲いをしっかりと設置したこともあり、館内に舞うことは避けられた。 ・工事施工中も開館を継続した。ただし、9/16、9/23、10/14（いずれも月・祝）は、騒音及び振動が激しくなることが予想されたため、臨時休館とした。 資料、市民資料室の利用 ・開架室の一部壁面・書架が工事施工中は利用不可となるため、個人文学などの全集を外部倉庫に移動させ、館内資料の配置を一時的に変更した。外部倉庫に移動した資料についても、利用者から要望のあったものは月2回取り寄せて、提供した。 ・市民資料室は、9月24日から2月4日の間、資料を移動して工事のために立ち入り禁止とした。この間、資料は市政図書室の複本を利用してもらい、ここにしか所蔵していない全国の電話帳については職員が市民資料室からとってきて提供する体制をとった。 駐車場、トイレ、集会室等の利用スペース ・9月26日から2月4日までの間、1階トイレの工事を実施した。この間は、図書館の外（正面玄関となり）に仮設トイレを3基設置して、利用者はこちらを利用してもらった。 ・おむつ交換台を地下に移動させたため、乳幼児のおむつ替えを必要とする方は、地下に案内して対応を行った。 ・地下のトイレに簡易手すりを設置し、仮設トイレの使用が困難な方には地下トイレを使用してもらうことにしていたが、使用はなかった。 ・アウトフレームを設置するために、地下駐車場付近一帯が工事現場となり、地下駐車場（利用者用も含む）が使用できなかった。このため、8月26日から3月13日までの間、移動図書館ひまわり号と庁用車を利用者駐車場に常駐させた。このことにより、利用者用駐車場の駐車台数が減り、土日には駐車場が混雑した。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

- ・集会室の利用は停止しなかった。騒音があることを告知する掲示を行った上で、利用を継続した。おはなし会を児童室で行ったり、対面朗読を応接室で行うなど対応した。

事業の課題と改善策

【課題】耐震性を確保することができたが、経年による建物の劣化や建物全体のバリアフリーの確保（エレベーターの設置等）などリニューアルに向けた課題が残っている。

【改善策】

課題を解決するために、以下の取組が必要である。

- ・実施設計、工事を実施するための予算確保。
- ・工事期間中の中央図書館の運営を決定する（臨時休館か仮設の建物による開館か）。
- ・資材置き場、開館の場合は仮設館の建物と土地の確保。
- ・中央館蔵書、備品等を仮置きする倉庫の確保。蔵書を出納する場合は、その方法の確立。
- ・これらを踏まえたうえで実施設計を行い、リニューアル工事を行う。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	【主要事業】Ⅱ－１． 第４次子ども読書活動推進計画の策定
事業の概要	・第４次日野市子ども読書活動推進計画策定委員会を設置する。 ・第３次計画の検証を行う。小中学生の読書活動の現状を知るため、読書調査を行う。 ・策定委員会において、検討を行う。 ・素案を作成し、パブリックコメントを実施。計画を策定する。
事業の成果	・公募による市民委員２名、学識経験者１名のほか、保育園・幼稚園・小学校・中学校および子どもの読書に関わる行政機関の職員による１６名で構成する第４次日野市子ども読書活動推進計画策定委員会を設置し、事務局は図書館が務めた。 ・６回の策定委員会を開催。様々な立場の委員による情報共有および活発な議論が行われた。 ・第３次計画の検証のため、関連各部署に調査を行い、現状と課題を把握することができた。 ・市内小中学校に読書調査を実施し、日野市の小中学生の不読率（１か月に１冊も本を読まなかった人の割合）や、図書館から小学校へ配本している「本の森」の利用状況、中学生の好きな作家など、子どもたちの読書活動の現状を知ることができた。 ・計画策定の過程における委員からの提案により、発達・教育支援センター（エール）にて、移動図書館ひまわり号による団体貸出（９月実施）や図書館の絵本パックの団体貸出（６月に２０パック、１２月に２２パック）を試行し、相互の連携を深め、特別な支援を必要とする子どもとその保護者のニーズを知ることができた。 ・パブリックコメントでは、３名の方からご意見をいただき、計画策定の参考にすることができた。 ・子どもたちが読書を通じて、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付け、ひとりひとりの多様性を認め合いながら、共に未来を創り出していけるよう、環境の整備に取り組む計画として、その方向性を表す基本理念およびその実現のための３つの基本方針を設定した。 ●基本理念：本のむこうに きっとみつける それぞれの未来 ●基本方針：１．すべての子どもたちが、身近に本と出あえる環境づくり ２．子どもたちが、自ら読書の楽しさを発信する取り組み ３．子どもと本をつなぐ活動をする人たちが連携する仕組みの充実 ・乳幼児期、小中学生、青少年という成長段階に合わせて、子どもたちに直接働きかける読書活動と、その読書活動を推進するための諸条件の整備、また子どもの読書活動を支える地域の活動の推進や、子どもの読書活動の大切さに広く市民の関心と理解を深めるための普及・啓発について、具体的な取り組み内容を定めることができた。 ・市内の様々な読書活動事例紹介を掲載し、取り組み内容が見えるよう工夫することができた。
事業の課題と改善策	【課題】・策定した計画の進捗状況の「見える化」 ・新型コロナウイルスの影響で子どもの読書活動に関わる様々な事業の休止等があり、どのような形で子どもの読書活動を推進して行くのか、関係各部署で検討が必要である。 【改善策】・計画に基づいて行う各部署の事業・取り組みを市民にPRし、計画自体の認知度を高める。 ・進捗状況調査において、関係各部署の取り組み状況と課題を調査し、図書館が支援できることを検討・実施する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	【主要事業】Ⅱ－２． 乳幼児へのサービス
事業の概要	・第３次日野市子ども読書活動推進計画に基づき、０歳児から就学前までの乳児・幼児および保護者の読書活動を推進する。
事業の成果	・健康課主催のママパパクラスで図書館利用の案内 これから親になる方への絵本紹介、読み聞かせ、ブックリスト配布、図書館利用案内を計８回行った。 平成３０年度からは、本を通じたパパと乳幼児のふれあいに注目し、モデルとなるように男性職員が積極的に参加した（８回中６回参加）。図書館のPRに重点を置き、図書館利用につなげることができた。 ・乳幼児関係機関と連携した事業実施 公立保育園職員・公立幼稚園職員・図書館職員の協働により『3.4.5歳 春夏秋冬絵本リスト』を作成した。 公立及び私立保育園・幼稚園（令和元年度は初めて私立幼稚園（9）、保育園（33）、小規模保育園（16）、保育ママ（2）等にもリストを配布できた）、児童館などの子育て施設に活用してもらうよう配布した。
事業の課題と改善策	【課題】 ・図書館は乳幼児を育てる保護者にも役立つ場所だということを、これから親になる方へ向けてPRしていく。 【改善策】 ・新型コロナウイルスの影響で、ママパパクラスが時間短縮となり、図書館の利用案内は中止になった。健康課と連携して、図書館の利用案内等を違った方法でPRしていくことを検討し、実施する。 ・乳幼児向け絵本を紹介する各種リストを図書館ホームページにも掲載し、広く活用してもらう。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	【主要事業】Ⅱ－３． 小中学生へのサービス
事業の概要	・小中学生向け資料の充実 ・児童向けホームページでの郷土に関するコンテンツ作成 ・中学生と作家の交流事業 ・中学生職場体験受け入れ ・「ジュニアスタッフ」事業 ・本の森学級文庫の充実 ・特別な支援を必要とする児童・生徒とその保護者への読書相談及び資料の収集と提供
事業の成果	・おはなし会を定期的に開催。全体では 95 回、延べ参加人数 1,608 名（大人・子ども合わせて）。 ・主に小学校等で読み聞かせをする方を対象に、絵本読み聞かせ入門講座（5 月 10 日・日多摩平図書館、6 月 7 日・高幡図書館の計 2 回・参加者 17 名）、読み聞かせに向く絵本の紹介（7 月 5 日・百草図書館、10 月 15 日・平山図書館、令和 2 年 1 月 31 日・中央図書館の計 3 回・参加者 18 名）を開催した。 ・小学 3 年生を対象に行っている学校訪問（図書館ガイダンス）を、15 校に実施した。利用カードを作りに来館する児童や、配布した『おはなしクイズブック』を持って来館する児童の姿がみられ、図書館の利用につながることができた。 ・図書館ホームページ内の子ども向けページに、地域を知るためのコンテンツとして「しらべようひの」を作成した。4 つのテーマで、9 つのパスファインダーを掲載した。 ・夏休み期間中、学童クラブへ出張おはなし会を 12 か所行った。 ・令和元年 6 月 5 日に〈図書のミニ展示会〉（複数の出版者に協力をいただき、調べ学習用図書を中心とした図書の見本展示会。出版社から図書内容紹介の時間もあり）を開催した。小中学校の司書教諭や学校司書、学校図書館で図書館業務に従事する市政協力員 15 校 37 名にも参加していただいた。同時に、図書館のリサイクル本も提供した。 ・「本の森学級文庫」配本図書を、提供冊数の少なかった高学年を中心に全学年分増冊した。 ・特別な支援を必要とする児童・生徒へは、先生が選書した資料の配送（希望制）を小学校 2 校に行った。 ・平成 31 年 4 月 21 日に〈としょかんおはなしピクニック 2019〉を開催した。（参加者約 300 名） ・中学生と作家の交流事業として市内各中学校の中学生 24 名と企画運営会議を全 5 回行った。生徒同士意見を出し合い、学校や学年を越えた交流の場になっていた。講師に米澤穂信氏をお招きし、平成 31 年 11 月 4 日に講演会を開催した。（参加者 112 名） ・夏休み期間中、市内在住の小学校高学年・中学生を対象に、図書館ジュニアスタッフを募集し、図書館の仕事を体験してもらった。6 館で実施し、参加者は計 13 名。これまで中学生のみを対象としていたが、小学校高学年もやってみたいという希望を受け対象とした。参加者数（小学生 10 名、中学生 3 名）は昨年度より 4 名増えた。終了後のアンケートでは、体験内容について、4 つの選択肢のうち「①良かった」12 名、「③大変だった」2 名、「②物足りなかった」「④思っていた事とちがった」を選択したのは 0 名だった（1 名複数回答）。 ・令和元年度より、小学校 2 校・中学校 1 校に、各校 1 名の学校司書が配置された。蔵書管理や図書館運営に関する相談に対応した。中学生と作家の交流事業 講演会には、中学校の学校司書にも参加していただいた。 ・市政図書室を除く 6 館で、中学校 6 校・計 41 名の中学生職場体験を受け入れた。
事業の課題と改善策	【課題】 ・小中学生が主体的に参加できる工夫 ・図書館ホームページの「こどもページ」の PR ・新型コロナウイルスの影響をふまえた、イベントの見直し（おはなし会、おはなしピクニック等） 【改善策】 ・小学生が主体的に参加できるよう、小学生対象のおはなし会を一部見直し、「たかはたブッククラブ」として実施。 ・新型コロナウイルスの対策を取り、中学生と作家の交流事業を実施できる方法を検討する。 ・「こどもページ」のコンテンツや PR 方法を工夫し、広く活用してもらう。 ・新型コロナウイルスの対策を徹底したり、ホームページを活用したりするなど、イベントの開催方法を見直す。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	【主要事業】Ⅱ－４． 青少年へのサービス
事業の概要	第３次子ども読書活動推進計画に基づき、青少年の読書活動を推進する
事業の成果	【イベントの参加・実施】 ・「としょかんおはなしピクニック 2019」で展示や工作コーナーに参加（４月 21 日・多摩平の森ふれあい館／日野ヤングスタッフ 6 名参加） ・〈常磐祭〉でビブリオバトルと展示の開催（11 月 10 日・実践女子大学／実践女子大学生 5 名、日野ヤングスタッフ 6 名、観戦者延べ 75 名参加） ・〈BOOK パレード in 大坂上中学校〉の準備（開催は新型コロナウイルス感染症の影響で延期） 【日野ヤングスタッフと他団体との交流】 ・実践女子大学（５月 19 日・実践女子大学／実践女子大学生 4 名、日野ヤングスタッフ 4 名参加） 【発行物作成・情報発信】 ・図書館ホームページ「ヤングコーナー」の充実 「ヤングスタッフ活動日誌」の更新（10 回） 「旬の推し本」の更新（2 回）※高幡図書館にて紹介文と本を展示・6 月～ 「ギャラリー」の公開（1 月～） ・日野ヤングスタッフ募集チラシの刷新と配布（1 月 16 日・明星大学／80 部） ・作家リストの作成に着手 ・多摩平図書館ヤングコーナーの一角にミニ展示スペースを設置し、職場体験生や図書館実習生による POP を展示（9 月～） 【各館での取り組み】 ・ヤング世代による展示 「受け継がれる物語～懐かしい本 Part2～」（4 月 21 日・としょかんおはなしピクニック 2019） 「始まり」（11 月～12 月・実践女子大学常磐祭／12 月～1 月・高幡図書館／2 月～・多摩平図書館） 「実践女子大学生の選んだ本」（2 月～・高幡図書館） - 職場体験生や図書館実習生による POP の展示（9 月～・多摩平図書館） ・職員によるヤング世代向け展示 「特集：米澤穂信」（10 月～11 月・高幡図書館） 「特集：小野不由美」（11 月～12 月・高幡図書館） 「就職活動関連本」（11 月～・高幡図書館） 「ライトノベルはいかがですか？」（1 月～・高幡図書館） 【ヤングスタッフの増加】 イベントや図書館ホームページに載せた情報などをきっかけに 3 名増（高校生 2 名、大学生 1 名）
事業の課題と改善策	【課題】 ・実際に集まることが難しい状況下での活動の継続 ・ヤング世代での流行や興味・関心に留意し、適時適切なサポートをすること ・各図書館及び図書館ホームページのヤングコーナーの活用や、新鮮な情報の継続的な発信 ・高校生への直接的なアプローチが弱いこと 【改善策】 ・ヤングスタッフの集まりについて、Web ツールを用いた方法を検討し、実施する ・図書館ホームページの「ヤングコーナー」のコンテンツを充実させる ・市内大学生や中学生、他団体などとヤングスタッフとの交流を深め、ヤング世代同士で読書の楽しみを共有できる機会をつくる ・市内高校に、ヤングスタッフの活動を中心にアプローチをかける

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	【主要事業】Ⅱ－５． 学校支援
事業の概要	
	・ 学校図書館を支援するために、小中学生が身近な学校図書館で本と親しみ、学習することができるよう、学校搬送便や読み物セット「本の森学級文庫」の配本を実施する。 ・ また、小中学生の読書活動の推進を図るため、司書教諭連絡会での情報交換、学校への貸出資料リストの提供等により、学校図書館との更なる連携の強化を図る。 ・ 図書館・学校図書館システムの更新により、システムの新たな機能を活用し、より迅速で正確に学校図書館と情報共有する。
事業の成果	
	・ 「本の森学級文庫」では、提供冊数の少なかった高学年を中心に全学年分増冊し、身近に本のある環境を整備できた。[小学校 17 校 各学年へ年 3 回（学期ごと）の配本。延べ 51 回－合計 16,102 冊（平成 30 年度は 15,411 冊）] ・ 学校搬送便では提供した資料を評価できるシートを添付し、その結果を選書に反映できる体制を準備した。 ・ 調べ学習用資料等の申込方法について、教諭とのやり取りをスムーズに行い、担当者の作業を軽減するため、FAX からシステムへの変更に向けて検討を行った。 ・ 市内小中学校の司書教諭が集まる司書教諭連絡会（11 月 7 日／日野第一小学校図書室）に参加し、学校搬送の PR を行い、利用の増加につながった。（「調べ学習用資料搬送」は依頼件数が前年度比で約 15%の増） 【学校搬送実績】（調べ学習用資料搬送）小学校 17 校 51 クラス－延べ 125 回 5,600 冊／中学校 5 校 7 クラス－延べ 10 回 432 冊／（特別支援学級搬送）小学校 2 校 2 クラス－延べ 13 回 755 冊／合計 60 クラス－延べ 148 回 6,787 冊。＜平成 30 年度は（調べ学習用資料搬送）小学校 17 校 53 クラス 4,539 冊 延べ 107 回／中学校 4 校 7 クラス 643 冊 延べ 10 回／（特別支援学級搬送）小学校 2 校 2 クラス－延べ 16 回 1,189 冊／合計 62 クラス－延べ 133 回 6,371 冊。 【サービス実績】 ・ 「本の森学級文庫」配本－小学校 17 校各学年へ年 3 回（学期ごと）も配本。のべ 51 回 16,102 冊 ・ 学校搬送便資料提供数－小学校 17 校 51 クラス 5,600 冊 のべ 125 回／中学校 5 校 7 クラス 432 冊 のべ 10 回／特別支援校 2 校 2 クラス 755 冊／合計 6,787 冊 60 クラス のべ 148 回。（平成 30 年度合計は 6,371 冊 62 クラス のべ 133 回）
事業の課題と改善策	
	【課題】 ・ 引き続き、学校図書館と連携を行いながら、学校搬送資料提供の更なる充実を図る ・ 学校教諭との連絡を迅速かつ正確にやり取りする連絡方法の検討 ・ 中学校への学校支援内容の検討 【改善策】 ・ 学校搬送便での資料提供を充実させるために、どの資料が役立ったか記入するシートを添付し、評価の結果を資料の選書、購入に反映させる。 ・ 「本の森学級文庫」は高学年への貸出冊数を増冊する。 ・ 学校図書館図書貸出管理システムの掲示板機能等を活用して情報共有を行う。 ・ 図書館内の学校支援体制を整え、調べ学習用資料の貸出申し込み方法を FAX 受付だけでなく、メールでも受付できるようにする。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	【主要事業】Ⅲ－１． デジタルアーカイブの導入
事業の概要	・令和２年度中に、日野市の刊行物の中でも特に劣化が進んでいる昭和期の刊行物をデジタル化し、図書館ホームページで公開する。 ・総合計画書や分野別計画書、予算書、決算書、事務報告書、統計資料、広報ひの、日野町誌、七生村史、日野市史等利用の多い資料を対象とする。 ・デジタル化した資料を公開することにより、原本（紙の冊子）の保存と資料利用の利便性向上を図る。
事業の成果	・令和２年度に実施する昭和期の市刊行物のデジタル化に向けた事業計画とスケジュールを作り、デジタル化の対象とする資料として約４８０点（約１２万枚）を選定した（令和元年１０月）。市制施行以前（日野町・七生村）の刊行物や、複本数の少ない昭和３９年～昭和４５年頃の刊行物で特に劣化が著しいものの原本約２００点を保存にまわす計画を立てた。 ・公益財団法人図書館振興財団の「２０２０年度振興助成事業」に応募し、助成金を獲得した（令和２年１月）。 ・令和２年度の事業実施に向け、仕様書作成等契約の準備作業を行った。 ・データでのみ発行される資料を含む市刊行物の納本制度を作るためのガイドライン（納本の対象とする資料の種類を選定）を検討した。
事業の課題と改善策	【課題】 ・令和２年度は、昭和期の市刊行物（計画書、事務報告書、予算書・決算書、統計書、日野市史等）をデジタル化し、図書館のホームページで順次公開する計画であるが、平成期前半（平成１２年度頃まで）の日野市の刊行物もデジタル化されておらず、日野市のホームページでは見ることができない状態にある。原本の劣化も進んでいく。今後、平成期前半の刊行物もデジタル化し公開する必要がある。 ・デジタル化済み資料の原本を保存するスペースを確保する必要がある。 ・データでのみ発行される資料が確実に納本される仕組み作りと庁内各課への周知が必要となる。 【改善策】 ・刊行物を作成した課に、ホームページに掲載していない時期の刊行物について、データの保存の有無を確認し、データがあるものを順次デジタル化する。 ・デジタル化事業を進めていくために、今後も補助金・助成金の情報を積極的に収集し予算化をめざす。 ・本庁舎２階、百草図書館事務室内、旧平山台小学校図書室の３か所の書庫の機能分担を明確にし、市政図書室内の保管資料を整理・移管し、デジタル化済み資料の原本の保存環境を確保する。 ・納本制度の対象とする市刊行物の種類（計画書、報告書、予算書・決算書、統計書、会議録、答申等）を明示したわかりやすいガイドラインを作成し、庁内に周知する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	1 - (1) 地域・行政資料の収集・提供・保存
事業の概要	■地域・行政資料の収集提供保存 日野市、市内の機関・団体、在住者等が作成したもの、また、これらについて記載された図書、雑誌、パンフレット、チラシ等の地域・行政資料を収集・保存し、市民の現在のくらしへの活用を進めるとともに、日野市の今を未来に伝えます。 日野市に関する資料を網羅的に収集するため、市役所内の関係部署との連携を図るとともに、市内の団体・サークル等に協力を求めます。各地域館では、地域館周辺の地域の地理・歴史、自然、観光等に関する資料の収集に努めます。 また、保存された資料をスムーズに提供できるよう、定期的に資料の整理等を行います。 ■市政図書室の機能充実 日野市立図書館の地域・行政資料センターとして、市刊行物を確実に確保するため、納本制度を設けるとともに、ガイドラインを作成し、市役所内へ周知を行います。 また、電子データで発行された市の行政資料を永久保存するため、市ホームページに公開された電子データの保存・整理・提供を進めており、より網羅的で効率的な手法を構築します。 さらに、公文書として定められた保存年限を過ぎたものの中から、歴史的価値のあるもの、行政資料として重要なものを選び出して保存し、将来にわたり利用できるような仕組みづくりを検討します。
事業の成果	【中央】・中央図書館の耐震補強工事に伴い、市民資料室内の地域資料書架のうち約 6 割を資料に合わせて棚の高さを調整できるように変更した。それにより大判（A4 以上）の資料を背表紙が見えるよう立てて配架できるようになった。合わせて書架案内図を市民資料室内に掲示し、市民が自身で資料を探すことができるようになった。 【高幡】・「学びの場プロジェクト 歩こう・調べよう・ふるさと七生」の理解を深めるための参考資料リストを郷土資料館から提供してもらった。その中で、図書館で所蔵がなく、七生地区に関連の深い高額本を 2 冊購入した。これまでは都立図書館等より取り寄せて提供していたが、参考資料として素早く提供できるようになった。 【日野】・日野宿内の下町・下河原地区の旧写真 32 枚の提供を受け、地域資料として保存し、活用する準備を整えた。 ・『日野の歴史と文化』（日野史談会）の総目次をホームページ上に掲載し、地域調査用の検索ツールとして市民に提供できた。 【多摩平】・日野市在住者が作成した著作物について著者から（出版社からも）寄贈があり、地域資料を確保することができた。また、それらを広く市民へ提供することができた。 ・ふれあい館で活動している句会の会誌（「暦日」隔月刊）について寄贈があり、地域市民の活動を広く市民に PR することができた。 【平山】・資料の新陳代謝を随時行い、コーナーの資料を見やすく探しやすいして、地域について知る機会を広げた。 ・「平山季重まつり」（10 月 27 日）に合わせて、平山季重クイズを作成し、主だった図書の展示を行い、平山地域について関心をもってもらうことができた。 ・「学びの場プロジェクト歩こう・調べよう・ふるさと七生」冬編「平山季重と平山遺跡」（11 月 9 日）で、平山地域関連資料を講義室に展示して、参加者が関心を広げる機会を提供した。 ・配布していた平山季重の紹介パンフレットを蔵書登録して全館に配置したので、他館の来館者も見たり探したりすることができるようになり、市民が平山季重を知る機会を広げた。 【市政】・市政図書室内で所蔵している日野市の会報類のリスト「市政図書室会報類【市内】所蔵一覧」を作成し配置した（令和 2 年 2 月）ことにより、所蔵年や所蔵号が一目でわかり、探しやすくなった。 ・シティセールス推進課と連携し、デジタルサイネージ（PONTANA）に日野市の刊行物（計画書等）や市のイベント情報を収集して掲載する仕組みを作った（令和 2 年 4 月 1 日運用開始）。 【百草】・「歩こう調べようふるさと七生」夏編（7 月 20 日）に向け、郷土資料館と連携して PR しイベントを行った。また、郷土資料館からの寄贈や、他館からそのテーマに関するものを集約し、関連資料を増やしてコーナーを充実させた。イベント後も多くの方が関心を持って見ていた。 ・三沢中地区アクションプラン会議で関わりのある地域団体（駅前子育て応援施設モグモグ、せせらぎ農園、いのちのプロジェクト等）のパンフレットや発行物をファイルしてコーナーに設置。百草地域に関するレファレンスが増えた。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業の課題と改善策

【課題】

中央…地域・行政資料が利用者に知られていない。

高幡…地域に関する資料が図書館にあるということが、まだ広くは知られておらず利用につながっていない。

日野…市民著作コーナーの整理が必要。新選組コレクションの活用の促進

多摩平…地域資料コーナーが利用しやすくなるように継続的に整理を行う。

多摩平団地についての資料を積極的に収集していく。

平山…地域情報の発信方法の検討。

市政…デジタルサイネージ（PONTANA）に掲載する市刊行物（計画書、報告書、市民向けリーフレット等）の数を増やす。

デジタルサイネージ（PONTANA）を利用して資料を入手する利用者を増やす。

保存年限が過ぎた公文書の中から、歴史資料や行政資料として重要なものを遺すための仕組みを作る。

百草…引き続き百草地域の情報の拠点となれるよう、各部署と連携して資料を収集、保存、提供をしていく。地域内の団体、活動等を把握する。

【改善策】

中央…利用者に関心を持ってもらえるよう、レファレンス室や一階開架室において地域・行政資料の展示を行う。

高幡…地域に関する資料のコーナーを見やすく利用しやすい書架にする。

日野…市民著作コーナーの拡充。新選組コレクションの展示の工夫と PR

多摩平…掲示・表示を分かりやすくして、地域資料コーナーの存在をアピールする

平山…常設情報のこまめな更新。

市政…市刊行物の納本制度の庁内への周知を進めると同時に、デジタルサイネージ（PONTANA）を市刊行物の情報発信の手段として活用できることを PR することで、掲載希望を増やす。

- ・市民に対して、チラシを紙ではなくデジタルサイネージからダウンロードして持ち帰ることができる利便性を PR することで、閲覧利用を増やす。

- ・公文書のあり方を検討する庁内プロジェクトチームに参加し、歴史資料や行政資料として重要な公文書を選別して未来に遺し、活用するための仕組み作りを検討する。

百草…地域の団体、活動等の情報収集、発行物等の資料収集を積極的に行う。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	1 - (2) 市民に役立つ情報の提供
事業の概要	
■情報コーナーの設置 社会情勢や周辺地域の特性、ニーズ等を的確にとらえ、市民の関心の高いテーマに関するコーナーを設置します。地域館では、利用者や地域の特色を活かした展示を行います。 特に地域館では、地域の情報センターとしての役割を担うことをめざし、地域に関する情報発信に取り組みます。館内の壁面等をつかって目立つ場所に地域情報を掲示し、情報を発信します。 ■パスファインダーの作成と配布 地域等に関する資料、情報の探し方・調べ方を紹介するパスファインダーを作成し、配布します。	
事業の成果	
関係機関から持ち込まれたチラシやポスターを随時整理し、きれいに見やすく配置することで、市民の学びや自己実現の機会を広げることができた。図書館の情報提供の一つと考えている。 【中央】・1 階玄関に設置している地域情報のチラシや、2 階しごと情報コーナーに設置してある情報の見直しを随時行い、最新の情報を発信した。 ・「豊田商店街スタンプラリー（令和 2 年 2 月 15 日（土））」開催情報を入手し、イベント担当者に働きかけ、図書館内にイベントのチラシを置くとともに、中央図書館もイベント会場の一つとして参加した。これにより地元の商店街に貢献することができ、今後連携するきっかけとなった。 ・市民資料室にある資料の分類と主な内容、資料などを紹介する案内を作成し、館内に掲示した。利用者が地域資料を探しやすくなり、資料をより活用できるようになった。 【高幡】・児童室に、児童の読書に役立つリスト類のほか、子育てに役立つチラシ等を整理して置いた。これまでは、すべてのお知らせが入口付近のラックにまとまっていたので、目に留まらなかったものが、子育て中の市民の手に取りやすくなったようで、チラシがよくはけるようになった。 ・児童室に「子どもの読書にかかわる市民の活動について」まとめた掲示板を設置した（11 月より）。 【日野】配布するチラシの優先順位を①日野宿地域の施設が発行したもの、日野宿地域で開催するもの②日野市内の施設が発行したもの、日野市内で開催するもの③公的機関が発行したもの、公的機関が開催するものとし、優先順位の高いチラシを最も目立つ場所で配布し、市民に活用された。 【平山】・平山城址公園ハイキングについての情報を求められることが多いため、資料をコピーしたり、関係機関からパンフレットを補充したりしてもらうなどして、すみやかに提供することができた。 【多摩平】・医学関連の書架を整理し、病気別に分類に沿って見出しを入れることで、どこにどの病気に関する本があるのかが一目して判断できるようになった。特に、がんなど、おかれている場所が幅広かった病気について場所を統一できた。 【市政】・日野市が進める重要施策である「SDGs 未来都市選定（令和元年 7 月 1 日）」や「2020 東京オリンピックのウクライナ空手競技チームホストタウン登録（令和元年 6 月 28 日）」のそれぞれ決定の翌日から、施策を紹介する情報コーナーを設置し、情報発信を行うとともに関連資料を紹介するミニ展示を開催した（～令和 2 年 3 月末）。市政図書室の館報「資料の広場」346 号、348 号、350 号で「SDGs を知る本」を紹介する特集を組んだ。SDGs について書かれた本（32 冊収集）やウクライナを紹介する本が市民や議員、市職員に広く利用された。 ・書架の側面を使って、ウクライナ空手競技チームの事前キャンプに関する覚書（写）や調印式の写真、選手のサイン、国旗等を掲示した。玄関前に東京オリンピック・パラリンピックの公式マスコットのぬいぐるみとのぼり旗を飾って PR し、来庁者の写真撮影スポットとして活用された。 ・SDGs 未来都市やウクライナの情報発信を行ったことで、庁内の他課から関連資料が提供されるとともに、市の施策の情報発信の場として市政図書室の認知度が高まった。 ・「日野に暮らした文化人」の連続展示の第 1 回として、「没後 50 年 伊藤整」を令和元年 9 月 30 日から開催した（～令和 2 年 3 月末）。伊藤整の故郷・小樽市の小樽文学館や設立に尽力した日本近代文学館、北海道立文学館と情報・資料交換等の交流を進めることができ、古書購入と合わせて新たに 12 冊の資料を収集した。	

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

■パスファインダーの作成と配布

- ・『新選組を読む・調べるために』を150部発行し、市民および観光客へ配布した。また、図書館ホームページに公開し、広く紹介することができた。
- ・『日野の歴史と文化』（日野史談会）の総目次をホームページ上に掲載し、地域調査用の検索ツールとして市民に提供できた。
- ・パスファインダー「PlanT 利用者のための図書館利用案内」を作成することができた。

事業の課題と改善策

【課題】

中央…利用しやすく配布物の整理を行うこと。

高幡…児童のおすすめ本のリストや子どもの読書案内など読書や子育てにかかわる配布物の種類が増えたことで、重なるなどして目につきづらくなっている状況の改善

日野…ポスターや配布物の配置場所がバラバラで見づらい状況の改善。

多摩平…多摩平団地について調べるためのパスファインダーの作成について検討をすすめる。

PlanT 向けパスファインダー第2弾の作成・配布

平山…さらなる地域情報の収集と発信。

市政…日野市が進める重要施策に関する資料を集めて展示する常設のスペースを確保する。

百草…情報コーナーの参照しやすい掲示方法、レイアウトの工夫。

- ・1階ギャラリーの活用方法の検討。

- ・関連資料リストやパスファインダーの作成等、地域資料紹介・活用方法の検討。

【改善策】

中央…掲示物の貼り方を工夫して見やすくする。引き続き年度末に配布物のリストの更新作業を行う。

高幡…窓際の展示架や閲覧机を活用し、表紙が見えるように配置する

日野…ポスター掲示、チラシ配布コーナーを一か所にまとめ、分かりやすくする。

多摩平…地域のビジネス支援につながるような資料を収集・更新していく。

市政…加除式資料の書架を整理することで空きスペースを作り、都市間交流自治体情報コーナーを常設する。

百草…図書館ホームページ「こどもページ」内にあるコンテンツ「しらべようひの」を基に、パスファインダーを作成し、地域情報コーナーに設置する。

- ・図書館からのお知らせ、地域に関するチラシ・ポスター、それ以外等と分類して掲示する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	1－(4) 地域で活動する団体との連携
事業の概要	■日野宿発見隊の活動支援 日野宿周辺の住民、商店会等関係者による日野宿発見隊の活動がまちの活性化につながるよう、日野図書館が中心となり、引き続き活動を支援します。
事業の成果	・日野宿発見隊活動支援補助金交付（20万円）を受ける。 ・5月11日、「スタンプラリー in 日野宿 2019」を実施。参加者 628 名。 ・7月11日、日野一中生徒会と共に用水清掃を実施。参加者 86 名。 ・7月27日、「夏休み！親子で調べよう日野用水」を実施。参加者 37 名。 ・8月24日、「日野駅 130 年よもやま話の集い」を実施。参加者 16 名。 ・9月1日から30日、「八坂の祭り写真展」を実施。八坂神社の玉垣等に写真パネルを 45 点を展示。 ・1月1日から3月29日、「まちかど写真館 in ひの 祝・日野駅開業 130 年」を実施。日野駅改札外東側歩道の両脇に写真パネル 42 点を展示。日野駅の協力により、構内では日野駅主催の展示を同時開催。好評のため、1月31日までを予定していた開催期間を延長した。 これらのイベント通じて日野駅が開業 130 年を迎えたことを地域の方へ知らせ、ともに祝うことができた。地域住民の交流を促し、まちの活性化の一助となった。 ※なお、3月20日に予定していたまち歩き会「線路沿いを歩く」は、新型コロナウイルス感染症の影響により延期とした。
事業の課題と改善策	【課題】 ・新型コロナウイルスの影響による活動方法の見直し 【改善策】 ・日野宿発見隊ホームページのリニューアル等による情報発信の充実 ・新型コロナウイルスの対策を取り、日野宿発見隊ができることを検討し実施する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	1－(4) 地域で活動する団体との連携																																						
事業の概要	■地域で活動する団体・サークルの活動支援 地域で活動する団体やサークルに対し、図書館の集会室等やギャラリーを開放し、活動拠点を提供します。また、団体・サークル活動に役立つ資料を充実します。 ■企業・商店等との連携 企業や商店等と連携し、日野市の地域産業や特産品をより多くの市民に知ってもらうための関連資料の展示等、日野市の産業振興を支援するとともに、市民が集う機会づくりに取り組みます。																																						
事業の成果	■地域で活動する団体・サークルの活動支援 中央図書館、高幡図書館、百草図書館の集会施設を市民の生涯学習に活用してもらうために、これら施設の利用を、「広報ひの」・図書館報「ひろば」等を活用して周知を図った。集会施設を定期利用する団体向けに、「定期利用抽選会」を年2回（5月31日、11月29日）開催した。※中央図書館は、耐震補強工事による集会室の利用に影響はなかったが、3月は新型コロナウイルスのため、全館利用停止。 令和元年度利用実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th></th><th>団体数</th><th>延べ利用回数</th><th></th><th>団体数</th><th>延べ利用回数</th><th>延べ利用日数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央</td><td>集会室</td><td>24 団体 (30 団体)</td><td>304 回 (319 回)</td><td>ギャラリー</td><td>3 団体 (5 団体)</td><td>3 回 (7 回)</td><td>42 日 (118 日)</td></tr> <tr> <td>高幡</td><td>読書会室</td><td>38 団体 (38 団体)</td><td>332 回 (355 回)</td><td>ギャラリー</td><td>1 団体 (3 団体)</td><td>1 回 (3 回)</td><td>8 日 (30 日)</td></tr> <tr> <td>百草</td><td>談話室</td><td>29 団体 (30 団体)</td><td>279 回 (279 回)</td><td>ギャラリー</td><td>2 団体 (2 団体)</td><td>3 回 (2 回)</td><td>139 日 (47 日)</td></tr> </tbody> </table> （カッコ内は平成30年度） ・図書館ホームページ、館内掲示、広報などを活用し抽選会の実施を周知した。集会施設を定期利用する団体向けに、「定期利用抽選会」を年2回開催した。（前期参加：中央16団体・高幡21団体・百草12団体 後期参加：中央16団体・高幡23団体・百草13団体） 【中央・平山】 援農市民養成講座「農の学校」の受講生募集のチラシを配布した。 ■企業・商店等との連携 ・日野市商工会主催〈まちゼミ〉にて開催される全50講座について、関連する図書を紹介したリストを作成し、各講座を実施する事業所に提供した。また、〈まちゼミ〉参加事業所が地域内にある高幡図書館・多摩平図書館・百草図書館では、館内に関連資料を展示し、地域の産業についてよく知り、〈まちゼミ〉の応援をすることができた。 【高幡】・近隣遊戯施設の「京王あそびの森 HUGHUG」の依頼を受け、チラシを設置した。 【多摩平】・パスファインダー「PlanT 利用者のための図書館利用案内」を作成することができた。 【平山】・向かいが農協という立地にちなみ、平山地域の農業と都市農業に関連した本の展示を行った（2月1日～2月29日）。市民が都市農業や日野市の農業について、知る機会を広げた。									団体数	延べ利用回数		団体数	延べ利用回数	延べ利用日数	中央	集会室	24 団体 (30 団体)	304 回 (319 回)	ギャラリー	3 団体 (5 団体)	3 回 (7 回)	42 日 (118 日)	高幡	読書会室	38 団体 (38 団体)	332 回 (355 回)	ギャラリー	1 団体 (3 団体)	1 回 (3 回)	8 日 (30 日)	百草	談話室	29 団体 (30 団体)	279 回 (279 回)	ギャラリー	2 団体 (2 団体)	3 回 (2 回)	139 日 (47 日)
		団体数	延べ利用回数		団体数	延べ利用回数	延べ利用日数																																
中央	集会室	24 団体 (30 団体)	304 回 (319 回)	ギャラリー	3 団体 (5 団体)	3 回 (7 回)	42 日 (118 日)																																
高幡	読書会室	38 団体 (38 団体)	332 回 (355 回)	ギャラリー	1 団体 (3 団体)	1 回 (3 回)	8 日 (30 日)																																
百草	談話室	29 団体 (30 団体)	279 回 (279 回)	ギャラリー	2 団体 (2 団体)	3 回 (2 回)	139 日 (47 日)																																
事業の課題と改善策	【課題】 高幡…新型コロナウイルスの影響により、読書会室の利用に関し、制限が発生する場合の情報発信 多摩平…PlanT 向けパスファインダー第2弾の作成・配布 百草…地域の掲示板機能としての1階ギャラリーの活用方法の検討。 ・地域の産業を把握する。 【改善策】 高幡…読書会室の利用団体に、利用に関する制限等の情報を確実に発信する。 多摩平…PlanT 担当者との情報交換をすすめる 百草…引き続き地域で活動する団体やサークルの活動拠点として、談話室を活用する。 ・1階ギャラリーの活用方法は、地域の団体等と検討する。 ・地域の産業について学び、関連資料を展示する。																																						

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	1－（５） 関係機関との連携
事業の概要	■大学図書館との連携 より一層の市民の利用機会の拡大につながるよう、近隣の大学図書館との連携のあり方について検討します。 市内にある首都大学東京図書館、明星大学図書館は、市民も利用が可能であることを PR します。 実践女子大学・実践女子大学短期大学部図書館とは、平成 19 年（2007 年）より、相互利用に関する協定（紹介状の発行による大学図書館の利用、大学図書館資料の市立図書館での閲覧等）を締結し、利便性が向上しました。あわせて連絡会やイベント等を通じた交流を継続・推進します。
事業の成果	・実践女子大学との連絡会を開催した（2019 年 6 月 4 日、2020 年 2 月 19 日）。 ・実践女子大学の常磐祭（11 月 10 日）にて、ヤングスタッフ・実践女子大学ライブラリースタッフ共催のビブリオバトルを開催した（観戦者延べ 75 名）。また、ヤングスタッフによるテーマ展示、おすすめの本にたどり着くフローチャートの展示も行った（11 月 10 日～11 月末日）。若い世代に本の魅力を発信することができた。 ・実践女子大学の常磐祭（11 月 10 日）にひまわり号が出張し、移動図書館の紹介や貸出のほか、工作、記念撮影を行った。あわせて、歴代ひまわり号、市内各館の写真をパネルで展示した。約 100 名の来場者があり、学生ばかりではなく、常磐祭に訪れた親子連れにも図書館の PR ができた。 ・日野ヤングスタッフ募集チラシを刷新し、明星大学にて配布した（80 部）。 ・夏季休業中、日野市在住受験生的女子限定で、実践女子大学日野キャンパス図書館が開放された。ポスター掲示や図書館ホームページに載せて PR を行ったが、利用実績はなかった。今年度は中央図書館の耐震工事があったため、大学側のご厚意で開放していただけたもの。 ・明星大学図書館が、夏季・春季休業中、近隣在住・在学の高校生に開放していることを、各館にポスターを掲示して PR した。
事業の課題と改善策	【課題】 ・市内大学図書館を市民が利用できることが知られていないため、周知すること ・東京都立大学、明星大学との連携のあり方についての検討 ・実践女子大学との更なる連携の強化 【改善策】 ・日野市民が大学図書館を利用できることを、館内へのポスター掲示やチラシの配布で PR する。また、図書館ホームページでも引き続き PR を行う ・明星大学図書館・東京都立大学図書館に日野市立図書館の利用案内およびヤングスタッフ募集のチラシを置いてもらうよう働きかける。 ・実践女子大学との連絡会を開催し、学園祭や大学が実施するイベントなどに積極的に参加する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	1 - (5) 関係機関との連携
事業の概要	■周辺施設との連携 市民に多様な学びの場を提供し、生涯学習の機会を広げるため、公民館、郷土資料館等と連携した学びの機会の拡充に取り組みます。また、各館が周辺の子育て関連施設や観光施設等との連携を強化し、イベントに合わせた関連資料の展示や、行事の共同開催等に取り組みます。 このほか、市で運営する各施設の市民に役立つ情報について、積極的に情報発信を行います。
事業の成果	【中央】・豊田小学校3・4年生の地域体験活動「いなほタイム」の児童を受け入れ、職場体験等を通じ図書館を知ってもらうことができた。(7月から12月にかけて4グループが各3回来館) ・「豊田商店街スタンプラリー(令和2年2月15日(土))」開催情報を入手し、イベント担当者に働きかけ、図書館内にイベントのチラシを置くとともに、中央図書館もイベント会場の一つとして参加した。これにより地元の商店街に貢献することができ、今後連携するきっかけとなった。 ・日野税務署の依頼を受け、税を考える週間(11月11日から11月17日)に合わせ、税に関する資料の展示を行い、税に関する関心を持ってもらう契機をつくった(展示物:資料26点、税務署からの配布物)。 【高幡】・「学びの場プロジェクト 歩こう・調べよう・ふるさと七生」春編「ほどくぼ小僧『藤蔵』と『かくれ穴』」を6月15日に(参加者20名)、秋編「高幡界限一今・昔」を10月19日に実施した(参加者17名)。 ・「学びの場プロジェクト 歩こう・調べよう・ふるさと七生」の理解を深めるための参考資料リストを郷土資料館から提供してもらった。その中で、図書館で所蔵がないもので、七生地区に関連の深い高額本を2冊購入した。これまでは都立図書館等より取り寄せて提供していたが、参考資料として素早く提供できるようになった。 ・「学びの場プロジェクト」のために郷土資料館が作成したレジュメを、図書館資料として受け入れした。プロジェクトに参加できなかった市民にも、郷土資料として提供できるようになった。 ・七生特別支援学校の児童の作品を館内に展示した(3/27~4/4)。 【日野】・ひの児童館主催の肝だめし(8月9日)、クリスマス会(12月18日・19日)に協力し、読み聞かせを実施した。 ・新選組のふるさと歴史館のおひなさま企画に周辺施設とともに協力し、2月18日~3月8日、館内につるし雛を飾った。 【多摩平】 ・多摩平の森ふれあい館内他機関への出張として、4月は子ども家庭支援センター多摩平「子育てひろばミニ講座」へ、10月はたまだいら児童館プチすくすくへ、それぞれの絵本講座へ講師を派遣 ・多摩平の森ふれあい館内他機関からの出張イベントとして、6月は子ども家庭支援センター多摩平職員、1月はたまだいら児童館職員に来館してもらい、ミニイベントの講師を依頼 ・保育園に5回、館内おはなし会を実施(10月、11月、12月(2回)、2月) ・多摩平の森ふれあい館まつり(2月8日(土))に参加し、施設内の連携を深め、ほかの施設の利用者に図書館の存在を知ってもらうことができた。 ・多摩平交流センターでの公民館事業「LGBT」講座に合わせて、関連本の展示を行い、市民の学びを深めることができた。 【平山】・〈ひらやまえんにち〉(8月4日)に合わせて、平山季重ふれあい館構成部署(図書館、地域協働課、子ども家庭支援センター、市企画経営課)と合同で、〈平山季重ふれあい館サマーイベント〉を実施した。図書館は、「児童書と雑誌のリサイクル配布」と「本探しゲーム」を行い、特に初めて行った「本探しゲーム」は9チーム33人(子ども18人、大人15人)の参加があり、良かったという感想を多くいただいた。 ・市民向け生涯学習部門合同イベント学びの場プロジェクト歩こう・調べよう・ふるさと七生冬編「平山季重と平山遺跡」(11月9日)で、平山地域関連資料を講座室に展示し、参加者の関心を広げることができた。 【百草】・地域の高齢者施設への読み聞かせを11回出張。中央公民館や駅前子育て応援施設モグモグとの連携により、地域の高齢者の方々との絵本や紙芝居を通じた交流を行うことができた。また、高齢者施設に読書スペースが新設されたことから、要望に合わせたリサイクル資料を約50冊提供した。 ・落川交流センターで行われている地域の活動〈もちつき大会〉において、読み聞かせを実施した。 ・談話室で開催された地域包括支援センター主催の「認知症サポーター養成講座」時に、関連資料の紹介・貸出を行った。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業の課題と改善策

【課題】

中央…周辺施設の情報入手し、連携を働きかけること

- ・学校からの地域体験活動の要請の受け入れ

高幡…周辺施設との連携の継続

日野…周辺施設との連携の継続

多摩平…PlanT との連携をすすめる

平山…関係機関と連携の推進。

百草…周辺施設との連携行事の拡充。

【改善策】

中央…地域周辺の催し物、施設の活動状況の情報入手し、図書館が連携できる可能性を検討する。図書館がイベントを行う際は、地域の特産品等を販売できないか検討する。

- ・学校との連携は、事前に十分な打ち合わせを行い、目的に沿うよう実施する。

高幡…公民館、郷土資料館等が主催する事業に関連した図書のミニ展示を行い、連携を深める。

日野…引き続き、中央公民館をはじめとする周辺施設と連携し、地域の活性化に努める。

多摩平…PlanT 担当者との情報交換をすすめる

館内の子育て関連施設との連携を継続する

平山…平山季重ふれあい館構成部署による合同企画を実施する。

百草…三沢中地区アクションプラン実行委員会や地域の行事に参加することにより、情報共有や連携・交流をさらに深める。（予定していた本の紹介イベントは、現在、延期となっている）

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	1－（５） 関係機関との連携
事業の概要	■周辺地域との連携
	日野市では「京王線沿線七市図書館連携」を行っており、八王子市、府中市、調布市、町田市、多摩市、稲城市、日野市の住民は 7 市の図書館を利用することができます。このことについて、「広報ひの」や図書館ホームページ等で PR を行います。 また、上記 6 市以外の自治体の図書館との連携も検討します。
事業の成果	
	・令和元年 5 月 22 日より立川市・国立市との連携事業があらたに始まった。「広報ひの」や図書館ホームページ、図書館報「ひろば」への掲載等により、相互利用について PR を行った。これにより、日野市民の図書館利用の利便性をさらに向上させることができた。 ・従来の『京王線沿線七市図書館ガイドブック』は最新版をホームページに掲載した。 日野市民の他市図書館利用 ：新規登録者 1,045 人 貸出冊数 64,855 冊 他市市民の日野市立図書館利用：新規登録者 532 人 貸出冊数 60,769 冊
事業の課題と改善策	
	【課題】 ・相互利用についての周知。 【改善策】 ・各館での相互利用 PR、定期的な図書館ホームページでのお知らせを行う。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	2－（１） くつろげる「居場所」としての環境の充実
事業の概要	■設備の改善・充実 誰もが入りやすい市民の憩いの場として図書館の滞在性を高めるため、机や椅子等の備品の定期的なメンテナンス、配置の工夫等を行い、くつろげる空間を確保します。中央図書館のリニューアルにあたっては、喫茶スペースを設け、来館者が交流できるスペースとします。 また、おむつ替えシートや授乳室等、乳幼児連れの方も気持ちよく利用できる衛生的な環境を、各図書館の規模等を考慮しながら整備を検討します。 ■ニーズに応じた多様なスペースの確保 読書スペースの拡充について検討するほか、本を読んだ感想を語り合える場等、利用者のニーズに応じた多様なスペースの確保に努めます。
事業の成果	【中央】 ・耐震補強工事にて１階トイレの改修工事を行い、バリアフリートイレの充実及びおむつ替えシートの設置や授乳スペースの新設、誰もが利用しやすい衛生的な環境を整備することができた。 【高幡】 ・照明器具の一部をLEDに交換した（４月、３月）。 ・劣化が進み道路に面していることから図書館の雰囲気を損ねていたブラインドの取り替えを行った（４月～５月）。 ・２カ所ある貸出窓口の足元に、誘導ラインを表示した（６月）。このことにより、混雑時の窓口案内がわかりやすくなり、割り込み等によるトラブルが軽減した。 【日野】 ・椅子の配置を変え、利用者が館内を移動しやすくしたり、椅子に敷く座布団を取り替えたり、くつろげる空間を作れた。 【平山】 ・机、椅子、ブラインド等の点検を毎週行うようにした。ネジが取れていたところや、ゆるんでいたところが発見でき、早期に修繕することができた。 ・高所にある窓ガラスの清掃や換気装置の清掃を行なった。 【百草】 ・かねてより要望のあったおむつ交換台を誰でもトイレ内に設置した。（中央図書館のトイレ改修工事により不要になったおむつ交換台を再利用） ・児童室に靴を脱いで上がれるスペースを確保するため、レイアウト変更を行った。 ■ニーズに応じた多様なスペースの確保 【日野】 ・９月８日～２１日、「Fresh！日野フォトエキシビジョン！」と題して、明星大学写真部が撮影した「第２２回ひの新選組まつり」の写真３０点を開架室書架の壁面に展示した。これにより、明星大学生に展示の機会を提供できた。また、来館者にふだんの図書館とは違った新鮮な空間を提供できた。 【平山】 ・おはなし会の開催時には、子育てひろばに声をかけ、参加してもらい、終了後に参加者や子育てひろばの先生と情報交換を行った。 ・子育てひろばに図書館職員が出向いて行うおはなし会の後に情報交換をし、どのような本が読まれているかなどを聞き、次回のおはなし会の時に合わせて持参した。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業の課題と改善策

【課題】

中央…限られたスペースでの利便性や快適性の追求。

高幡…経年劣化による設備等の修繕

日野…清潔でくつろげる空間作り。多様な館内活用方法の工夫

平山…備品の老朽化が目立ってきた。

百草…子どもたちとその保護者へのくつろげる読書スペースの提供。

【改善策】

中央…利用状況を注視し、必要に応じて設備の配置換え等を行う。

高幡…計画的に修繕を行う。令和２年度は天窓の雨漏り修繕を実施する。

平山…工夫しながら、順次取り換えを検討していく。

日野…清掃に努め、不用品を除去する。備品の配置を変える。他の図書館の事例を参考にする。

百草…児童室に上足スペースを作り、子どもたちとその保護者にさらにくつろげる読書スペースを提供する。
(新型コロナウイルスの影響をみて実施)

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	2－（２） 本を通じた出会い、交流の機会を創る取り組み
事業の概要	■おすすめ本の紹介 図書館内で利用者が本の感想等を発信し、他の利用者が本を選ぶ際にそれを参考にできる仕組みづくりを行います。 ■各種イベントの拡充 市民が読書の楽しさを発信・共有できるよう、読書会やビブリオバトル等の開催を推進します。これらイベントを市民の力で開催できるよう、イベントを開催する団体、個人への支援を行うとともに、図書館が市民主催で立ち上がったイベントをコーディネートする役割を果たせるよう体制を整えます。 また、より多くの市民が本と親しむことができるよう、講演会等を開催し、本を通じて市民が集う場の拡充を図ります。
事業の成果	■おすすめ本の紹介 【中央】 ・秋に「おすすめスポーツの本」、12月には「冬に読みたい本」をテーマに、子どもたちからおすすめ本の紹介をもらった。それぞれ67件39冊、178件121冊の本が子どもたちから紹介された。 紹介された本は展示して借りやすいようにし、紹介された本も一覧リストにして印刷し、見られるようにした。 【高幡】 ・夏休みジュニアスタッフ1名と、職場体験生6名におすすめ本紹介のポップ作成を依頼し掲示した。 ・実践女子大学学生が作成したポップとおすすめ本を、ヤングスタッフコーナーに展示した。（令和2年2月25日～3月31日） ・高幡図書館ヤングスタッフコーナーの掲示板に、利用者がおすすめ本のタイトル・感想を付箋に書いて貼るコーナーを、例年に引き続き実施した。 【日野】 ・ジュニアスタッフ2名が作成したポップと本を並べて展示した。 【多摩平】 8月：図書館実習生2名が作成したPOPの展示 9月：職場体験生4名が作成したPOPの展示 2月：ヤングスタッフが常磐祭で行ったテーマ「始まり」の展示 ・学校訪問や学童訪問で紹介した本の展示では、紹介を受けた小学生など子どもが本を手にする機会を提供できた。 ・図書館実習生らが作成したPOPで紹介した本は、同じタイトルで他館所蔵のものより貸出数が概ね多くなっている。利用者が本と出会う機会になった。 ・ヤング世代向けに新たに設置した展示についても、多くが貸し出しにつながっており利用者が本を手にするきっかけとなった。 【平山】 ・児童室におすすめ本を記入するカードを置いて、子どもたちに自由に書いてもらった。 ・季節の展示に合わせ、鳥の本を展示している時は鳥が出てくる本の紹介、秋にはオバケの本の紹介、冬にはクリスマスの本の紹介と、テーマとカードを変えて、実施した。子どもたちは、積極的にカードに書いて壁に貼るのを楽しんでくれ、本の紹介もたくさんすることができた。 【百草】 ・利用者から「あなたのぐつときた一文」を募集し、その一文のみを袋に貼り、本は中身がわからないように袋に入れて展示した。 ・子どもたちがおすすめ本を記入したカードを貼って「スイミー」をつくるなどの、参加して作成するような、本に関するポスターを児童室やギャラリーに展示した。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

■各種イベントの拡充

- ・実践女子大学との連絡会を開催した（2019年6月4日、2020年2月19日）。
- ・実践女子大学の常磐祭（11月10日）にて、ヤングスタッフ・実践女子大学ライブラリースタッフ共催のビブリオバトルを開催した（観戦者延べ75名）。また、ヤングスタッフによるテーマ展示、おすすめの本にたどり着くフローチャートの展示も行った（11月10日～11月末日）。若い世代に本の魅力を発信することができた。
- ・実践女子大学の常磐祭（11月10日）にひまわり号が出張し、移動図書館の紹介や貸出のほか、工作、記念撮影を行った。あわせて、歴代ひまわり号、市内各館の写真をパネルで展示した。約100名の来場者があり、学生ばかりではなく、常磐祭に訪れた親子連れにも図書館のPRができた。
- ・図書館主催の連続読書会〈はじまりの読書会2019〉を全5回実施。
日時：9月27日、10月18日、11月15日、1月17日、2月21日
場所：高幡図書館 読書会室
参加者：17名
- ・新たな試みとして、読書会終了後に30分程度自由に会話できる時間を設けた。
これにより、参加者同士や講師との交流が深まり、市民主催の読書会（2団体）が始まった。

事業の課題と改善策

【課題】

全館…新型コロナウイルスの影響による、夏休みジュニアスタッフや職場体験生の中止。利用者がおすすめの本を紹介できる機会を設ける必要がある。

百草…本を通した利用者同士の交流。「あなたのぐつときた一文」展示の拡充。

（各種イベントの拡充）

- ・参加者による読書会発足への支援。
- ・読書会への参加者以外への事業の周知

【改善策】

高幡…テーマ展示を利用し、利用者がおすすめの本を紹介できるコーナーを設ける。

- ・高幡図書館ヤングスタッフコーナーの掲示板を用いた、利用者がおすすめ本のタイトル・感想を付箋に書いて貼るコーナーの継続

日野…おすすめ本紹介コーナーを作り、利用者からのおすすめ本を募集する。

多摩平…ヤング世代向けの展示を継続して行う。展示内容は、図書館側からの一方的な内容にならないよう、ヤングスタッフの協力を得ながら実施する。

百草…本の紹介を通して利用者同士が交流できるよう、利用者参加型の企画展示を行う。「あなたのぐつときた一文」展示の拡充。

（各種イベントの拡充）

- ・参加者による読書会発足の参考となるよう、読書会に関する資料や情報（活動事例等）を収集し、紹介する。
- ・読書会事業紹介について図書館ホームページや図書館報「ひろば」にて紹介する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	3 - (1) 本と出あうきっかけづくりの拡充
事業の概要	■ポップ、ポスター展示、図書館報「ひろば」等による本の紹介 ポップによる本の紹介やポスターの掲示、テーマ展示の本のリストの発行等により、新たな本と出会い、読書をより楽しんでもらう機会を拡充します。 また、図書館ホームページや図書館報「ひろば」を通じて、新しい本の紹介を継続して進めるとともに、テーマに沿った本の紹介リストを図書館報「ひろば」特集号として発行します。 中学生の職場体験時におすすめの本を紹介してもらい、それを掲示しています。この掲示は同世代が本を選ぶきっかけになっており、引き続きこの取り組みを行っていきます。 ■テーマ展示の実施 季節や社会情勢等、利用者のニーズに応じたテーマ展示を行います。 また、環境や福祉等、市役所内の関係部署と連携した企画を引き続き推進するとともに、連携先の拡充に取り組みます。
事業の成果	・利用者が本と出あうきっかけとなるポップ、ポスターの掲示を行った。ポップやポスターは、夏休みジュニアスタッフや職場体験の中学生、図書館実習の大学等に作成してもらい掲示した。 ・図書館報「ひろば」を毎月 1574 部発行し、新しい本の紹介、図書館員による本の紹介を掲載した。 ・図書館報「ひろば」にて、図書館実習生による本の紹介を掲載した。 ・図書館報「ひろば」を毎月図書館ホームページで公開した。 ・社会情勢や季節等、利用者のニーズを考慮したテーマや市の事業（認知症、環境、平和、自殺予防、子育て支援、食育）、東京都の事業（都立図書館の呼びかけによりオリンピック・パラリンピックにちなんで、都内図書館で一定期間「東京でおもてなし」として展示を行う）の展示を行い、利用者が本と出あうきっかけをつくった。 【中央】・夏休みジュニアスタッフが作成したポップと紹介本を展示した。紹介された本は前年の倍の貸出となった（2018 年 4 回・2019 年 9 回）。豊田小学校 3・4 年生が作成した、おすすめ本の紹介ポスターと人気本ランキングを掲示した。 ・図書館ホームページに月ごとの各館テーマ展示資料リストを公開した。これまで来館しなくてはわからなかった各館の展示を、図書館ホームページから見るができるようにし、より多くの利用者に様々な視点から資料を紹介することができた。 【高幡】 ・夏休みジュニアスタッフ1名と、職場体験生6名にポップ作成を依頼し掲示した。 ・実践女子大学学生が作成したポップとおすすめ本を、ヤングスタッフコーナーに展示した。（令和 2 年 2 月 25 日～3 月 31 日） ・高幡地域の施設と連携した企画・展示（郷土資料館「野菜と果物の展示パネル」、七生特別支援学校の児童の作品展示、土方歳三没後 150 年）を実施した。 【日野】 ・夏休みジュニアスタッフ 2 名にポップ作成を依頼し掲示した。 ・他の館や書庫にある本を月替わりで展示し、市民が手に取る機会を作れた。 【多摩平】 8 月：図書館実習生 2 名が作成したポップの展示 9 月：職場体験生 4 名が作成したポップの展示 2 月：ヤングスタッフが常磐祭で行ったテーマ「始まり」の展示 ・学校訪問や学童訪問で紹介した本の展示では、紹介を受けた小学生など子どもが本を手に入る機会を提供できた。 ・図書館実習生らが作成したポップで紹介した本は、同じタイトルで他館所蔵のものより貸出数が概ね多くなっている。利用者が本と出会う機会になった。 ・ヤング世代向けに新たに設置した展示についても、多くが貸し出しにつながっており利用者が本を手に入るきっかけとなった。 ・ラグビーワールドカップ日本大会開催など時事に合わせた企画を実施し、利用者のニーズを意識した展示を展開することができた。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

- ・ふれあい館で講座を開催する中央公民館と連携し、講座テーマの本を展示し、市民の学びを深めることにつなげることができた。

【平山】

- ・6月の中学生の職場体験の時に、おすすめ本のポップを作成してもらい、本と一緒に展示した。
- ・夏に向けて、幼児向け、小学生向けの2種類の図書リスト「スポーツの本」を作成した。リストに掲載した本を展示、貸出しをし、リストを配布した。
- ・テーマ展示として、「信頼できるがん情報」や追悼（佐藤雅美、藤田宜永、野村克也）のミニ展示など実施した。

【百草】

- ・職場体験の中学生、夏休みジュニアスタッフが作成したポップを児童室に掲示した。同世代の子どもたちや、またその保護者にPRした。
- ・利用者のさらなるニーズを掘り起こすような展示テーマを考え、なるべく自館所蔵のものでなく、全館から資料を集め提供した。数か月経ってから、あの特別置いてあったあの資料が読みたいなどの問い合わせも受けた。

令和元年度 テーマ展示実施一覧

	中央	高幡	日野	多摩平	平山	百草
4月	ちょっと気になるインターネット 【ミニ展示】お仕事小説	いろいろな本の顔	あの人の本棚	春を楽しむ本 ～新しい挑戦の参考になる本	平成の天皇・皇室 【ミニ展示】信頼できるがん情報	あなたの好きな画家は？
5月	新緑と遊ぼう 【ミニ展示】お仕事小説	土方歳三没後150年	【子育て支援】子育て小説	【環境】環境問題を考える本	新選組 土方歳三	夢の世界一周
6月	お悩み相談室 【ミニ展示】平成の事件	【環境】	乗り物小説	時よ止まれ！～時間の本	【食育】	作家と出逢い
7月	【環境】エコで楽しく快適に 【ミニ展示】水にまつわる科学	星に願いを	ひんやりする本～いろいろな意味で・・・～	夜空～夜は空を見上げてみませんか？	近隣地域の出版者が出版した図書 【ミニ展示】信頼できるがん情報	海・水
8月	【平和】戦争と家族の暮らし 【ミニ展示】ぞくつとする本	【平和】	【平和】聴く力	【平和】人の権利、共存する社会	【平和】戦争を忘れない	【平和】平和を築く人々 【ミニ展示】大人の夏休み
9月	【世界自殺予防デー＆自殺予防週間】 【ミニ展示】ぞくつとする本	あかちゃんってね	【認知症】知って不安をやわらげる	いよいよ開幕！ラグビーワールドカップ	【認知症】 【ミニ展示】追悼 佐藤雅美	【認知症】
10月	【東京おもてなし】東京・日野いまむかし 【ミニ展示】節約	【東京おもてなし】楽しむ東京	【東京おもてなし】東京の道草	まちゼミ 【ミニ展示】東京おもてなし～ここをつなげる	【東京おもてなし】東京を歩く 【ミニ展示】追悼 緒方貞子	【東京おもてなし】オリンピックを彩る人々
11月	【子育て支援】 【児童虐待防止】にまつたときには… 【ミニ展示】税金に関する本	幻想の住人たち	【環境】地球温暖化と災害	11月は児童虐待防止月間です！	児童虐待防止 【ミニ展示】追悼 緒方貞子	世界のお料理
12月	片づけの本 【ミニ展示】新年のしたく	GIFT~贈り物の本	映画を見たい本	冬の彩り 【ミニ展示】絵本で英語を楽しむ(子ども向けの本)	【環境】 【ミニ展示】クリスマス正月を迎える	バリアフリーを考える
1月	健康法 【ミニ展示】ネズミが出てくる小説	【子育て支援】	中央線ものごと	新たな角度で世界を見る ～「〇〇から見た××」な本～	ある人の生涯を描いた絵本	【環境】ぽかぽかぬくぬく心も体もあたたかく過ごす
2月	さよなら 【ミニ展示】世界と日本の美しい〇〇の本	インドアを楽しもう	ただいま部活中	「ねむり」	農業 【ミニ展示】追悼 藤田宜永 追悼 野村克也	落語・笑い
3月	【自殺対策】ちょっと一休みの本 ※児童向けも含む 【ミニ展示】本屋大賞	【自殺対策】逃げ出したくなったら ※児童向けも含む	科学の入門	【自殺対策】ゆる～りゆったりしてみませんか 【ミニ展示】図書館の本で作ってみた！ LGBT入門講座関連書籍	新生活に向けて	言葉の贈り物～エール～

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

テーマ展示年度別貸出冊数

	中央	高幡	日野	多摩平	平山	百草	合計
令和元年度	3442	1828	1382	3814	1092	2136	13694

※ミニ展示実施月は、その貸出も含む

事業の課題と改善策

【課題】

全館…新型コロナウイルスの影響による、夏休みジュニアスタッフや職場体験生の中止。利用者がおすすめの本を紹介できる機会を設ける必要がある。

中央…その時々で話題になった事柄についてミニ展示を行う。

高幡…2階のギャラリーを使用した地域の施設との連携による企画・展示ができない状況である。

日野…新鮮なテーマでの展示の継続

多摩平…利用者のニーズを的確にとらえた企画展示をする

- ・市役所内の各部署と連携し市の課題とリンクしたテーマ展示を行い政策推進に寄与するためには庁内へのPRが必要。

百草…中高生に向けた展示、おすすめ本を紹介する機会が少ない。

- ・展示コーナーのスペースが狭く、目立たない。
- ・展示コーナースペースが狭いので、レイアウトを工夫する必要がある。展示スペースをさらに魅力的にする。

【改善策】

全館…図書館ホームページや図書館報「ひろば」を活用し、展示資料の紹介や図書館員による本の紹介「図書館員の本箱」の掲載を行う

中央…時宜にかなった展示を行うため、時事問題等に注目しておく。

高幡…テーマ展示を利用し、利用者がおすすめの本を紹介できるコーナーを設ける。

- ・学校訪問で紹介したおすすめ本をリストにまとめ、本と一緒に掲示し、読書への興味を拡充する。
- ・月替わりのテーマ展示で、市の事業に合わせた展示を行う。また、季節や社会情勢等、利用者のニーズに応じた幅広いジャンルの本を紹介する。

日野…ポップを使用して本を紹介する機会を増やす。

- ・引き続き、館内で月替わりのテーマ展示を実施する。他部署と連携したテーマ展示も実施する。

多摩平…ヤング世代向けの展示を継続して行う。展示内容は、図書館側からの一方的な内容にならないよう、ヤングスタッフの協力を得ながら実施する。

- ・児童向けのミニ展示を増やす。
- ・日常的にあまり利用されていない資料を展示することで、利用を促し、利用者にも新たな発見をしてもらうよう努める

百草…子どもたちの本への興味が広がるよう、児童室にて本にちなんだ利用者参加型の展示を行う。

- ・展示コーナーのレイアウト変更を行う。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	3 - (2) 子どもが本に親しむ機会を創り、拡大する取り組み
事業の概要	■子どもが利用しやすい環境整備 おすすめの絵本を手に取りやすくするために、絵本の紹介コーナーの設置や児童室の拡充等、子どもが本や資料を利用しやすい環境を整備します。 中央図書館では「本が大好きな子どもが育つ図書館をめざす」ために、リニューアルによって児童室を2階に移し、子どもが自由に利用できる場づくりを推進していきます。
事業の成果	各館の児童室において、季節にあったポスター等の掲示や本の展示を行うなど、子どもを連れて来館しやすい環境をつくった。おはなしの部屋がある地域館は、部屋の環境を子どもたちが過ごしやすく、くつろいで本を自由に手に取れるよう整えた。また、おはなし会などで紹介した絵本を展示した。 【中央】 ・春夏秋冬の季節ごと内容を変え、季節に合った本の展示を行った。図書館発行のブックリスト「スポーツの本」に掲載した本を、児童の夏休み期間中に展示した。「中国語」・「韓国・朝鮮語」の本を含む外国語の本コーナーと、LL ブックコーナーを新設した。 【高幡】 ・季節ごとのポスター掲示と季節絵本や行事絵本の展示をおこなった。図書館発行のおすすめ本リストの配布とあわせて、リストで紹介された本の展示をおこなった。中学年以上を対象にしたよみものの特別展示をはじめたほか、壁面書架にて本の表紙を見せるディスプレイ展示をはじめた。 【日野】 ・1門（哲学等）の見出しに子どもに分かりやすい言葉を使った（例「生き方」）。 ・棚のレイアウトを変更し、紙芝居や大型本を手に取りやすい場所に配架した。 【多摩平】 ・小学3年生を対象にした学校訪問にて紹介した本のコーナーを設置し、同年代の子どもの保護者からおすすめの本を尋ねられた際に紹介することができた。 ・児童書を使ってお菓子をつくる企画を実施し、ポスターと一緒に関連する本を置くミニ展示へ発展させることができた。休校措置の時期とも重なり、紹介した本がよく借りられた。 【平山】 ・絵本コーナーに、おはなし会で紹介した絵本を紹介し、展示した。 ・季節に合わせて、壁面装飾を変えた。秋には、3人の中学生ボランティア協力してもらいにハロウィンの装飾を作成した。 【百草】 ・赤ちゃん絵本コーナーを設置。（約30冊程度別置）対象のお子さんを持つ保護者へPRができた。 ・学校訪問で紹介した本のコーナーや季節に合わせた絵本等の展示コーナーを設置した。 ・子どもたちが参加して作成したポスターを児童室掲示板や、1階ギャラリーに掲示した。 ・誰でもトイレ内に、かねてより要望のあったおむつ交換台を設置した。
事業の課題と改善策	【課題】 中央…2階への児童室移設については、費用の関係で当面予定は無いが、現状で利用しやすい環境作りに努める。 高幡：低年齢の子が手に取りづらい状況（主に書架上の絵本、高架の低学年向け読み物）の改善 児童室での展示の継続 日野…さらに魅力ある児童コーナーにする。 多摩平…読み聞かせに向く絵本の常設コーナー設置 ・書架表示の更新 ・子どもたちのニーズに合ったミニ展示 百草…子どもたちとその保護者へのくつろげる読書スペースの提供。 ・子どもにわかりやすい書架表示への更新。 【改善策】 中央…外国語の本コーナーをPRする。書架の配置も検討する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

- 高幡…児童書架の改善に向け、配架状況と所蔵量のバランスを鑑みた児童書の整理を計画・準備する。
季節や行事のほか、子どもたちが興味をもちそうなテーマで展示を継続的に更新する。
- 日野…書架の配置や資料の置き方を工夫する。絵本のテーマ展示を実施する。
- 多摩平…書架表示・書架案内を更新し、わかりやすいものにする。
子どもたちのニーズを的確にとらえた企画展示をする
- 百草…新型コロナウイルスの終息後児童室における上足スペースの設置。
・書架表示を見直す。
・子どもたちの本へ興味が広がるよう、児童室にて本にちなんだ利用者参加型の展示を行う。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	4－（１） 図書館サービスのていねいな説明 4－（２） 利用につながる図書館情報の発信
事業の概要	■図書館サービスのPR 図書館では様々なサービスを実施していますが、知られていないものも多くあるため、図書館報「ひろば」や図書館ホームページ、館内掲示等によって、サービスの周知に努めます。 ■利用案内の作成・配布 現在発行している一般向け、子ども向けの利用案内および障害者サービスの利用案内について、より見やすいものとなるよう見直しを行い、サービスの周知を図ります。 ■未利用者向けチラシの作成・配布 これまで図書館を利用したことのない方に図書館のサービスを周知するため、図書館の所在地やサービス案内等をわかりやすく掲載したチラシを作成し、市役所で転入者に配布するとともに、市内の施設、店舗やイベント会場等で配布します。 ■様々な媒体を活用した広報・周知活動 プレスリリース等のメディアのほか、「広報ひの」に記事を掲載する等、積極的なPRを行います。また、SNS等インターネットを使ったPRの展開も研究していきます。
事業の成果	・図書館報「ひろば」は市役所関係 122 か所、図書館関係 21 か所、他機関（鉄道・郵便局など）15 か所、計 158 か所で合計 1574 部を配布。また図書館ホームページにも毎号掲載し、図書館の取り組みを周知できるよう努めた。 ・市民窓口課・七生支所に協力してもらい、転入者に図書館利用案内を配布。 ・障害福祉課に協力してもらい窓口および手帳申請者等に障害者サービス利用案内を配布。 【平山】 ・平山図書館を利用したことがない方に向けてチラシ「平山図書館の活動を知らせる」をつくり、近くの公共機関や市の広報板に掲示し、PRをした。
事業の課題と改善策	【課題】 ・図書館サービスのPRの拡充 【改善策】 ・図書館ホームページでのサービス紹介を繰り返し行う。 ・配布物にQRコードを付し、図書館ホームページへ誘導する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	4 - (3) 移動図書館ひまわり号によるサービスの充実
事業の概要	■個人・団体貸出の実施 移動図書館ひまわり号の機動性を活かして、図書館から離れた地域への巡回による個人貸出や児童施設等への団体貸出を行います。また、積極的に地域イベント等に参加し、移動図書館ひまわり号の PR を行います。 ■運営方法の検討 移動図書館ひまわり号の利用促進やサービス拡充のため、利用状況に応じた巡回か所の見直しや団体貸出の巡回の見直しを行う等、より効率的な運営方法を検討します。また、積極的に地域イベント等に参加し、移動図書館ひまわり号の PR を行います。 ■新システム導入によるサービスの拡充 巡回場所における予約や資料検索への対応等、利用者の利便性向上に向けた無線回線導入によるサービスの拡充を検討します。
事業の成果	・21 か所の地域への巡回を実施した（延べ巡回数 473 回、貸出冊数 23,981 冊）。 ・単発での団体貸出として市内の施設 1 か所、保育園 1 か所へ巡回し、貸出サービスを実施した。発達・教育支援センター「エール」2 回（9 月 17 日、11 月 20 日）、しせい太陽の子保育園 1 回（12 月 18 日）を訪問。エールは旭が丘にあるため、訪れた親子には「旭が丘地区センター巡回」の PR も行った。また次年度から定期的な巡回サービスの実施を決めるなど、サービスの拡大につながる取り組みとなった。 ・実践女子大学学園祭「常磐祭」（11 月 10 日）に参加した。写真パネル展や子ども向け工作も行い、凡そ 100 名に立ち寄っていただき、学生ばかりでなく、学園祭に訪れた親子連れにもよい PR となった。 ・夏休み期間中に中央図書館西側駐車場の一部を使い、ひまわり号を開放し PR を行った（8 月 14 日午後）。中央図書館近隣に居住する方たちは、ひまわり号を見たことはあっても利用する機会はないため、図書館利用後に立ち寄られる方も多く、夏休みの自由研究にするという子どもたちもいた。 ・新石田地区公共施設への新規巡回に向けた準備を進めた。 ・石田地区公共施設準備委員会に参加し、移動図書館の駐車方法や施設内でのサービス内容について各課と調整を行なった。駐車スペースは移動図書館の運用に合わせた設計を取り入れてもらい、安全な運行のためのスペースを確保することができた。会議に参加し情報を共有することで、市民への有効なサービスを提供するための準備を進めることができる。 ・図書館内では定期的な係会を実施。新たな巡回日程表を作成するため、21 サービスポイントすべての利用状況の把握、安全な駐車スペースが確保されているかの現場調査を行い、統廃合による巡回先の見直しの準備を整えた。 ・旭が丘地区センターの利用促進に向けて、巡回時には公園利用者に日程チラシを配布、また近隣の保育園・幼稚園に対しても団体貸出で訪問の際に地区センター巡回の PR を行った。積極的な PR 活動により、新規利用者を獲得した。また、幾つかの保育園は地区センターで行っている絵本読み聞かせを定期的な散歩コースとして入れてくれるなど、利用増加につながった。 ・無線回線については個人貸出巡回の全 21 サービスポイント（SP）の PC 通信状況を確認した。パソコンの立ち上げに時間を要し、また通信が不安定な SP もある。ノートパソコンの起動に時間がかかるため駐車時間の短いところではうまく活用できないところがあったが、長時間滞在するサービスポイントでは「蔵書検索」「予約処理」をリアルタイムで行い、利便性を向上させることができた。
事業の課題と改善策	【課題】 ・関係部署と連携し、石田地区公共施設への新規巡回サービスの準備を完了させる ・旭が丘地区センターの更なる利用拡大に向けたサービス内容の検討 ・新たに巡回要望の出ている団体への対応等、団体貸出サービス拡充への取り組み ・ひまわり号の利用促進のための PR ・ひまわり号利用者の更なる利便性向上のための取り組み 【改善策】 ・引き続き、石田地区公共施設会議等に参加して関係部署との情報共有を行う。 ・旭が丘地区センターの取り組みを参考に、地域住民やボランティアとも連携したサービスも検討する。 ・新たに巡回要望の出ている団体へのサービス実施に向けて、各団体への現巡回数の見直しを検討。 ・ひまわり号の巡回 PR チラシやポスターの作成。各所での配布や掲示による PR 活動を行う。イベントなどに積極的に参加する。 ・ノートパソコンを活用した運用方法についての再検討を行う。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	4 - (4) 多様な利用者へのサービスの拡充
事業の概要	■図書館の利用に障害がある方へのサービス 障害等のために来館が困難な方へ、ボランティアによる図書館資料の宅配を継続して実施します。視覚障害者のための点字講習、パソコン講習を引き続き実施します。また、録音資料や点字資料、大活字本等の障害者資料の充実を図ります。 市民のニーズに適切に対応できるよう、新規点訳者の募集や、音訳者講習会の開催等、専門的な人材の確保・育成に努めます。 中央図書館のリニューアル時に、バリアフリー化を進めます。地域館においてもよりバリアフリー化を図れるよう検討をしていきます。 このほか、障害福祉課等関係各課との連携を強化し、イベント等を通じた潜在的利用者への PR 活動にも取り組みます。
事業の成果	・高齢者関連施設 2 か所にボランティアによる宅配のチラシを配布したところ、1 か所の特別養護老人ホームから申し込みがあり、団体登録による利用にもつなげることができた。また施設長から、ボランティアの方に来てもらうことで地域の方に施設のことも知ってもらえてありがたいとの言葉をいただいた。 ・個人 4 名（新規 2 名）・団体 2 か所（新規 2 か所）の新規点訳者を確保することができ、より安定的に点字図書を提供できるようになった。 ・マルチメディアデージー図書について、出張点字授業に出向いた小学校 7 校に依頼し、特別支援学級の担当教諭につないでいただいた。2 校より説明の機会をいただき、児童家族へのパンフレット配布依頼もできた。 ・障害福祉課に配布してもらっている障害者サービス利用案内を見て、3 名から問い合わせがあった。
事業の課題と改善策	【課題】 今後も引き続き潜在的利用者への PR 活動が必要であるとする。直接利用者にアプローチする方法に検討が必要である。 【改善策】 ・マルチメディアデージーについて、放課後デイサービス、フリースクール、障害乳幼児保育施設等へ PR をしていく。 ・ボランティア宅配については、サービス付き高齢者住宅等へ PR していく。 ・障害者サービスの利用案内を市内の眼科医院へ置いてもらうように依頼をする。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	4 - (4) 多様な利用者へのサービスの拡充
事業の概要	■高齢者へのサービス 大活字本や高齢者向け紙芝居、さらには生涯学習ニーズに対応した様々な資料の充実に取り組みます。高齢者による子どもへの読み聞かせ等、図書館活動におけるボランティアの場づくりについても検討します。また、高齢者施設等の要望を確認し、図書館で除籍した資料の配布を行います。
事業の成果	【中央】 ・高齢者向けの、スマートフォン・パソコン関係のものを購入した。スマートフォン関連では5タイトルで計60回の貸出があり、関心の多いことがわかった。 ・高齢者が読みやすく、また、手に取りやすい生活や趣味に活用していけるものを中心に選書を行った。 【高幡】 ・高齢者向け紙芝居は高齢者施設での読み聞かせに利用されている。 ・館内にポスター掲示・チラシ設置などを行い、広く宅配サービスを周知している。現行のボランティアの方々へ、継続して下さるかどうかのアンケートを行った。 【多摩平】 ・高齢者の利用に適した大活字本や拡大写本を新たに収集し、よく借りられている。 ・医学関係の書架を整理し、分類に沿った見出しを入れることで、医療コーナーとして見やすい形にすることができた。特にニーズの高い病気・症状などは見出しで取り上げることで利用しやすくなり、貸出しにつながっている。 【平山】 ・闘病記や介護記の新刊図書を収集し、コーナーの充実を推進することができた。(令和元年度収集冊数 28冊、累計 234冊) ・国立がん情報センターがん対策情報センターから寄贈を受けている「がん情報冊子」を蔵書として登録し、検索を可能にしたことで、周知と活用が進んだ。 ・闘病記のリストを図書館ホームページに掲載したことにより、闘病記コーナーの周知と図書の活用が進んだ。 【百草】・地域の高齢者施設へ読み聞かせを11回実施。中央公民館や駅前子育て応援施設モグモグとの連携により、地域の高齢者の方々と絵本や紙芝居を通じた交流を行うことができた。また、高齢者施設の新しく出来た読書スペースに、要望に合わせたリサイクル資料を約50冊提供した。図書館で随時リサイクル資料を提供している旨を案内し、活用していただいた。施設への宅配サービスについてもPRを行った。
事業の課題と改善策	【課題】 高幡…新しい情報が必要である医療関係の資料は、更新が必要な資料も多い。 多摩平…利用者のニーズの把握とそれに応じた資料の充実、医療情報に関する資料の更新・充実 平山…闘病記やがん情報コーナーの周知と活用促進。 百草…高齢者向け出張読み聞かせ用プログラムへの対応。 ・高齢者施設への要望に合わせたリサイクル資料の提供。他機関との連携によるさらなる交流。 ・大活字本への要望がある。 【改善策】 高幡…選書、書架の管理において、資料の更新を行う。 日野…健康を維持するための、趣味や体操の本を収集・提供する。 多摩平…情報が日々更新される医療情報、スマートフォンやキャッシュレスなどの最先端技術に関する情報についての資料を積極的に収集し、蔵書を更新する。 平山…資料の更新と、図書館ホームページ等での広報。 百草…高齢者施設や高齢者に関する機関と連携することで、ニーズ等の把握・情報共有・PRに努める。 ・大活字本コーナーの設置。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	4－（４） 多様な利用者へのサービスの拡充
事業の概要	■外国人へのサービス 日野市に在住の日本語を母語としない、あるいは、日本語を読むことが困難な方がどのような資料を必要とするか等を把握していきます。 また、外国語の利用案内を配布します。
事業の成果	【中央】 ・外国語の絵本を常時展示できるようコーナーを作り、「外国語の本」と分かりやすく見出しを付けた。 【高幡】 ・令和元年度購入した外国語図書のうち、中国語・韓国語図書の貸出を開始した（中国語 10 タイトル、韓国語 11 タイトル）。「新しい外国語資料」として目立つ場所に展示し、利用者に PR した。 【多摩平】 ・日本語を学ぶための基本的な資料を 3 冊購入し、必要な方に提供することができた。 ・英語の絵本（日本語訳があるものを中心に）を 14 冊購入。すでに所蔵している絵本と共に、原著絵本と日本語訳絵本を読み比べられるよう資料を集め、「絵本で英語を楽しむ」をテーマに児童室に展示。子どもから大人まで幅広い層の貸出しが見られた。 【平山】 ・平山交流センターで定期開催されている日本語教室の先生から、日本語を学ぶための資料として推薦いただいた 3 冊を購入した。提供を進めることができた。
事業の課題と改善策	【課題】 高幡…日本語を学ぶための資料が少ない 多摩平…必要とされる資料の把握 多様な言語（中国語・スペイン語など）資料の収集・提供 【改善策】 高幡…選書において収集に努める 日野…英語併記した絵本の収集・提供。近隣施設の外国語版案内や、外国人ルートマップを収集・提供する。 多摩平…日本語を学ぶための資料を積極的に収集する。 英語以外の外国語絵本を収集・提供する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	4 - (4) 多様な利用者へのサービスの拡充
事業の概要	■様々な環境や要因により、図書館を利用しにくい人へのサービス 住んでいる場所から図書館が遠い方や、子育て中の方、親族の介護、勤務時間等により図書館を利用できる時間が限られている方等、図書館を利用しにくい方へ、資料の貸出や返却システムの改善等を検討することで、より利用しやすいサービスの向上に努めます。
事業の成果	【中央】 ・ 宅配ボランティアサービスの利用者：1名・1団体（1）、ボランティア登録者：1名（1） ・ 宅配件数：計6回（6） 貸出冊数：10冊（10）※カッコ内は平成30年度 【高幡】 ・ 宅配ボランティアサービスの利用者：8名（10）、ボランティア登録者：5名（5） ・ 宅配件数：計15回（27） 貸出冊数：34冊（73）※カッコ内は平成30年度 【日野】 ・ 宅配サービス利用者の口コミで宅配利用者が高齢者施設で4名、個人で1名増加した。 ・ 宅配ボランティアサービスの利用者：14名（9）、ボランティア登録者：5名（5） ・ 宅配件数：計148回（57） 貸出冊数：378冊（95）※カッコ内は平成30年度 【多摩平】 ・ チラシ・ポスターを館内に掲示し、利用者が1名増えた。また、数名の方からボランティアについての問い合わせがあり、新たに2名のボランティアに登録していただくことができた。 ・ ボランティアの方が増え、利用者の希望に沿った日程での宅配が可能になり、利用者の満足度も上がった。また、ボランティアの方にも活躍する場を提供することができ、喜んでもらうことができた。 ・ 宅配ボランティアサービスの利用者：2名（2）、ボランティア登録者：4名（2） ・ 宅配件数：計19回（23） 貸出冊数：100冊（45）※カッコ内は平成30年度 【平山】 ・ 宅配サービス利用を希望する方がはじめて現れ、宅配サービスを始めることとなった。 ・ 宅配ボランティアサービスの利用者：1名（0）、ボランティア登録者：1名（1） ・ 宅配件数：計1回（0） 貸出冊数：5冊（0）※カッコ内は平成30年度 【百草】 ・ 宅配ボランティアサービスの利用者：3名（2）、ボランティア登録者：2名（2） ・ 宅配件数：計12回（9） 貸出冊数：59冊（55）※カッコ内は平成30年度
事業の課題と改善策	【課題】 宅配ボランティアの利用を希望する個人利用者は増加せず、ボランティアとのマッチングが不整合である。 日野…宅配ボランティアサービスの継続 多摩平…高齢者施設利用者の宅配サービス利用を促進するためのPR活動 【改善策】 高齢者施設利用者からの要望があるため施設を訪問し、パンフレットを置いてもらう。 日野…ボランティアとのコミュニケーションの機会を作り、利用者にもボランティアにも気持ち良いサービスとする。 多摩平…引き続き、宅配サービスについてPRに努め、利用者を確保する

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	5 - (1) 資料・情報の収集
事業の概要	■蔵書の充実 収集方針に基づいた選書基準を明文化し公開します。 資料の利用状況や市民のニーズ、社会動向等に応じ、様々な分野の資料を幅広く収集し、より充実した蔵書構成をめざします。 ■オンラインデータベースの充実 日野市立図書館では、新聞、法規判例、官報情報等の8つのオンラインデータベースが利用できます。オンラインデータベースの利用を促進するために「データベースの利用で出来る調査の事例集」の作成等により、積極的にPRを行います。 国立国会図書館で収集・保存しているデジタル資料を検索・閲覧できるサービスである国立国会図書館デジタルコレクション、国立国会図書館の歴史的音源を検索・再生できるサービスは、中央図書館をはじめすべての地域館で利用可能です。これらをPRして利用を促進します。 また、主にクラシック音楽をインターネットに接続して聴くことができるナクソス・ミュージック・ライブラリーの利用も促進します。 ■電子書籍の検討 電子書籍について、市民ニーズの把握や職員間での最新動向の情報共有を行います。
事業の成果	■蔵書の充実 ・週1回の資料選択会議により、蔵書構成や市民のニーズを考慮した選書を行い蔵書の充実をはかった。 ・選書基準は、最終案を作成中、完成次第公開。 ■オンラインデータベースの充実 ・図書館ホームページとサイネージ型情報スタンド「PONTANA」に、レファレンスサービスとオンラインデータベースの紹介スライドを掲載した。これにより、レファレンス室を利用しない方や来館されない方にも視覚的にサービスのPRをすることができた。 ■電子書籍の検討 ・雑誌記事・図書・インターネット資料などを用いて、電子書籍関連のサービスや利用などについて情報収集・検討を行った。 ・移動図書館にもマルチメディアデイジー図書のチラシをおいて、利用者にPRを行った。 ・平成30年度に電子書籍を導入している八王子市立図書館を訪問（令和2年1月16日）し、電子書籍利用状況等の調査を行った。調査の結果として、電子書籍は図書館に来館しなくても本が借りられるといった利点もある反面、2年もしくは決められた回数利用した本はアクセス権が切れてしまうことから蔵書構成やリクエスト対応に難がある。また、同時配信はできない。費用と効果また市民の情報提供の観点から、引き続き情報を収集し研究を行う。
事業の課題と改善策	【課題】 ・選書基準の作成・公開 ・オンラインデータベースのPR 【改善策】 ・選書基準を作成し、図書館ホームページにて公開する。 ・オンラインデータベースの紹介を図書館ホームページや図書館法「ひろば」で繰り返し行う。 ■電子書籍の検討 【課題】 ・電子書籍に関する継続的な情報収集 【改善策】 ・電子書籍をめぐる市民・業界の動向にこれまで以上に注目・研究する・ ・市民の動向については、調査を実施する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	5－（２） 資料・情報の保存						
事業の概要	■資料の保存、除籍 次の世代に伝えていくべき資料等を確実に保存するため、他の図書館とも協力しながら、一定の基準に基づいて保存・除籍の仕分けに取り組みます。除籍した資料は、リサイクル図書として高齢者施設等に配布するほか、利用者にも配布します。						
事業の成果	【リサイクル資料の配布】 団体・個人等へ配布することにより、除籍資料を有効に活用することができた。 ・個人向け 毎月10日、20日、30日に各館（市政図書室を除く）にて配布した。（全館合計 23,642冊） イベントにて配布した。（3,466冊） ・団体向け 希望する団体へ配布した。（1,228冊）						
配布先	児童図書	児童雑誌	一般図書	一般雑誌	児童計	一般計	合計
幼稚園・保育園（15園）	103	0	0	0	103	0	103
小学校（12校）	762	0	0	0	762	0	762
児童館（5館）	163	5	0	10	168	10	178
学童クラブ（5か所）	101	0	0	0	101	0	101
子ども関連施設（2か所）	0	0	0	30	0	30	30
市他部署（1か所）	0	0	1	0	0	1	1
その他							53
団体合計	1,129	5	1	40	1,134	41	1,228
イベント（1回）	731	0	0	2,304	1,162	2,304	3,466
個人合計							23,642
合計							28,336
事業の課題と改善策	【課題】 ・永年保存資料の増加等により、保存場所がひっ迫してきている。 【改善策】 ・資料除籍・保存基準に基づき、保存資料の要不要の見極めや汚破損資料の除籍を行い、保存スペースを増やす。						

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	5－（３） 資料・情報の提供体制の充実
事業の概要	■ニーズにすばやく対応できる貸出体制の充実 所蔵資料の予約については、適正な冊数の複本の購入や、取り置き期間の徹底等により、資料が用意できるまでの時間短縮に努めます。 日野市立図書館で所蔵していない資料のリクエストについては、購入または他の図書館等から借用して、市民の多様なニーズに必ず応えます。他の図書館から借用する場合は、他自治体の図書館のみならず、東京都立図書館、国立国会図書館あるいは全国の図書館から借用することができます。
事業の成果	・ 取り置き期限の過ぎた資料の速やかな取り置きの解除を徹底し、次の予約者への迅速な割り当てを行った。 ・ 郵便による督促状に加え、メールによる督促を 12 月より開始した。郵送による督促は減少した（2018 年度 7,739 通、2019 年度 6,436 通）。ただし、新型コロナウイルス対応として 3 月 4 日発送以降の郵送督促を停止したことの影響もあるため、メール督促の効果は引き続き確認していく。 ・ オンラインによるリクエストの受付は東京共同電子申請・届出サービスを利用しており、ここ 3 年、2200 件前後申請されている。また令和元年度借用した資料は約 1300 件。
事業の課題と改善策	【課題】 ・ メール督促の効果を上げるため、メール登録者を増やすこと。 【改善策】 ・ 利用者の新規登録・更新時に、パスワード登録とメール登録を積極的に案内する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	5 - (4) 読書案内・レファレンスサービスの充実
事業の概要	■読書案内・レファレンスサービスの PR 貸出サービスと同様に図書館サービスの柱の一つである読書案内・レファレンスサービスの利用を広めるため、図書館ホームページや図書館報「ひろば」のほか、チラシの配布やテーマ展示の実施等、様々な機会を使って PR を行います。 また、「日野市についてよくある質問(レファレンス事例集)」を図書館ホームページで公開し、活用方法の周知を図るとともに、随時内容の追加・更新を行います。 ■レファレンス資料の充実 辞書・事典・年鑑等の図書資料だけでなく、オンラインデータベース等の電子情報や、新聞の地方版を収録したマイクロフィルム等、レファレンスサービスの情報源となる資料の充実を図ります。マイクロフィルムについては、長期にわたって適切に収集・保存を進めるため、経年劣化対策や保存場所の確保について検討します。 このほか、特定のテーマや課題について、資料や情報を探すための手引きを作成し、情報を提供します。 ■子どもの調べる力の向上 インターネットの利用が広がる中、本や資料等を使って、子どもが自ら調べ、学習し、課題を解決する喜びや楽しみを体験できるようにするために、資料の充実を図るとともに、資料の使い方等についての必要な支援を学校と情報交換をしながら連携して行います。
事業の成果	■読書案内・レファレンスサービスの PR ・テーマ展示を毎月おこない、利用者に各テーマに基づいた本を紹介した。展示した資料の 74%以上が貸出された。 ・レファレンス室だより(第 16 回)を図書館報「ひろば」11 月に掲載し、レファレンス資料を紹介した。 ■レファレンス資料の充実 ・中央図書館レファレンス室でビジネス支援に使える図書を増やした。 ・多摩平図書館担当者と協力して多摩平の森産業連携センター(PlanT)利用者向けパンフレットを作成し、図書館のビジネス支援サービスや中央図書館レファレンス室の PR につなげる予定。 ■子どもの調べる力の向上 ・調べ学習用図書の見本展示会を開催した(令和元年 6 月 5 日)。小中学校の先生、学校司書・市政協力員等 15 校 37 名が参加。出版社によるおすすめ書籍のプレゼンを聞き、選書に繋げることができた。 ・図書館ホームページ内の子ども向けページに、地域を知るためのコンテンツとして「しらべようひの」を作成した。4 つのテーマで、9 つのパスファインダーを掲載した。
事業の課題と改善策	【課題】 ・「しらべようひの」の PR ・子どもの調べる力向上のための学校支援 ・図書館ホームページ内の「こどもページ」への PR が不足している。 【改善策】 ・「しらべようひの」をホームページや館内で PR し、利用を促進する。 ・新型コロナウイルスの影響により調べ学習図書用の見本展示会を中止したため、探調ツール等を利用して支援できないか検討する。 ・教育広報誌「ひのっこきょういく」など様々な媒体で「こどもページ」の PR を行う。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	6－（１） 施設の保持・保全 6－（２） ＩＣＴ化の推進
事業の概要	■老朽化対策・防災対策の推進 各地域館の施設・設備の老朽化に対応するため、「日野市公共施設等総合管理計画」を踏まえ、緊急性の高いものから計画的に修繕を実施します。 中央図書館については、平成 26 年度(2014 年度)に実施された耐震診断において、補強工事の必要があると診断されました。これに基づいて耐震補強工事を実施します。 また、施設の老朽化対策にあわせて中央図書館の機能充実に向け、職員の検討チームによるリニューアルプランを平成 28 年度(2016 年度)に策定しています。必要な予算を確保し、中央図書館のリニューアルを図ります。 さらに、利用者の安全を確保し、市民の財産である蔵書を将来に残していくため、「日野市地域防災計画(「平成 25 年度修正版」平成 26 年 3 月策定)」「日野市事業継続計画(平成 22 年 1 月策定)」に基づき、防災対策を進めます。 ■セキュリティの強化 インターネットを介しての情報漏えい等のニュースが相次いでいます。現在行われているセキュリティ対策のマニュアルの遵守を徹底するとともに、マニュアルの定期的な見直しも行います。
事業の成果	■老朽化対策・防災対策の推進 ・消防用設備点検を中央図書館、高幡図書館、日野図書館、平山季重ふれあい館で実施（6 月、1 月）（多摩平図書館は男女平等課、市政図書室は財産管理課、百草図書館はビル管理者がそれぞれ実施している） ・百草は 9・3 月に消防用設備点検、3 月に消防訓練あり。 ・上記点検結果に基づく修繕を一部実施（平山季重ふれあい館消防用設備修繕） ・中央図書館耐震補強工事（機械設備・電気設備含）及び 1 階トイレ改修を実施 ・中央図書館白ガス管更新修繕を実施（7 月） ・高幡図書館地下駐輪場側溝修繕を実施（3 月）。 ■セキュリティの強化 ・各館のセキュリティ・リーダーが集まり、セキュリティ維持・向上、情報交換のための会議を年 6 回実施 ・学校課主催の学校図書館向け研修において、セキュリティに関する研修を実施 ・学校図書館ヒアリング調査を実施（豊田小学校、第二中学校） ・情報システム課のセキュリティ研修に全職員が参加した。 ・図書館貸出管理システム端末のウィルス対策ソフトのウィルスパターンを最新の状態にした。また、ウィンドウズのアップデートを定期的に行い、端末のセキュリティを最新の状態に保った。
事業の課題と改善策	【課題】 ・緊急修繕の対応に追われ、計画的な修繕が遅延 ・学校端末のデータ通信制限があり、ウィンドウズアップデートを複数月に分けて実施する手間がかかる。 【改善策】 ・公共施設等総合管理計画を踏まえ、安全に関わる緊急性の高い対策・修繕から行っていく。 ・学校端末通信保守契約の見直し。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	6－（３） 職員の育成
事業の概要	■研修体制の構築 近年図書館職員に対して、より高度で専門的なスキルが求められています。そして地域との関わり、地域の文化を創る拠点としての図書館を支える力量が求められています。図書館サービスに関する専門的研修や接遇研修をはじめ、図書館に求められる様々なニーズに合わせた適切なテーマを選択して行います。 読書案内やレファレンスサービスの最も重要な要素である、多様な資料・情報を使いこなし、適切な案内を行える職員を育成するため、レファレンススキル向上等を目的とした研修を適宜実施し、外部研修も活用します。
事業の成果	・高齢福祉課・地域包括支援センターの協力を得て、利用者接遇の一つとして認知症を学ぶ研修を実施した。 講師 林直哉氏（多摩平の森の病院の認知症看護認定看護師） 開催場所 日野市立中央図書館 1階 開架室 日時 2月10日（月）14：00～16：00 内容 「認知症サポーターステップアップ講座」 参加者数 図書館職員 23名 講義の他、ロールプレイやグループワークを実施し、認知症の方への理解を深めるとともに、適切な対応を学び、図書館業務に生かすことができた。 ・東京都立図書館や国立国会図書館の実施する研修に継続的に職員を派遣した。
事業の課題と改善策	【課題】 ・多岐にわたり求められる力量がある中で優先順位をつけてテーマを選択する必要がある。 ・館内研修に全員参加は不可能 【改善策】 ・職員が求める研修テーマから現状で最も必要とされるテーマを選択する ・参加できない職員には資料の回覧とフォローアップを行う。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	6－（４）　市民とともにすすめる図書館運営の推進
事業の概要	■図書館運営の点検・評価 図書館の運営状況に関する情報を積極的に提供するため、図書館法第7条の3に基づく「日野市立図書館の運営の状況に関する評価書」の作成を継続して実施します。 評価書は、公募による市民委員が含まれる図書館協議会に報告し、意見を反映させて作成します。その後、教育委員会に報告し、図書館ホームページ等で公表します。 ■図書館の運営方法の検討 各地域での特性を反映し、地域のニーズに応えるため、地域館ごとに市民とともに考え、ともに運営できる体制づくりを進め、地域に根差した地域館づくりを推進していきます。
事業の成果	【運営評価】 ・ 6月に図書館協議会へ図書館運営状況について報告し、協議会の評価を受けて、9月教育委員会に報告し、図書館ホームページで公表した。 【運営検討】 ・ 第5次日野市行財政改革大綱実施計画の取り組みとして、図書館の運営のあり方について検討し、報告書を作成した。
事業の課題と改善策	【課題】 ・ 基本計画に沿った評価表作成方法・評価内容について精査が必要 ・ 図書館の運営のあり方について、継続的に検討が必要 【改善策】 ・ 評価表作成方法について、協議会と協議する ・ 図書館運営検討報告書を基に協議会において議論する。

I. 図書館事業のあらまし

1 奉仕実績

(1) 蔵書状況（蔵書数）

① 図書

区 分	蔵書数（冊）	年間受入（冊）	年間除籍（冊）
一 般 図 書	659,116	25,063	20,343
児 童 図 書	184,599	9,631	6,269
計	843,715	34,694	26,612

② C D ・ ビデオ等

資料名	保有数
C D	4,315
カセットテープ	14
D V D	269
ビデオソフト	380
レコード等	20
計	4,998

③ 雑誌・新聞

	購読新聞	雑 誌		
		購入	寄贈	合計
中 央 図 書 館	18	199	41	240
高 幡 図 書 館	10	116	5	121
日 野 図 書 館	6	92	3	95
多 摩 平 図 書 館	10	163	5	168
平 山 図 書 館	7	82	5	87
市 政 図 書 室	14	49	46	95
百 草 図 書 館	8	109	2	111
移 動 図 書 館	0	37	0	37

(2) 利用者数・貸出点数

① 利用登録者数

成人（人）	児童（人）	登録者総数（人）	登録率（％）
30,176	4,990	35,166	18.83

※登録者数：年度内に貸出した人数

登録率：登録者数を令和2年4月1日の人口186,731人で除して算出

② 延べ利用者数、開館日数

館 名	のべ利用者（人）	開館日数（日）
中 央 図 書 館	68,421	313
高 幡 図 書 館	87,029	316
日 野 図 書 館	60,093	316
多 摩 平 図 書 館	135,134	316
平 山 図 書 館	45,681	316
市 政 図 書 室	4,815	289
百 草 図 書 館	34,970	316
移 動 図 書 館	4,111	—
計	440,254	—

※中央図書館：臨時休館3日（耐震工事のため）

<参考資料>

③ 個人貸出点数

区 分	一般図書	児童図書	CD・ビデオ	計
中央図書館	181,691	93,605	528	275,824
高幡図書館	201,619	78,068	796	280,483
日野図書館	149,313	90,300	722	240,335
多摩平図書館	314,285	159,724	7,843	481,852
平山図書館	104,953	38,247	366	143,566
市政図書室	10,811	1,856	79	12,746
百草図書館	76,516	35,603	3,623	115,742
移動図書館	14,273	9,892	48	24,213
計	1,053,461	507,295	14,005	1,574,761

④ 移動図書館・駐車場別貸出点数

駐 車 場 名	貸出 点数	駐 車 場 名	貸出 点数	駐 車 場 名	貸出 点数
シティハイツ日野旭が丘	2,834	新井わかたけ公園	1,174	貉谷戸公園	670
西平山第1公園	1,216	さいかちぜき公園	717	万願寺中央公園	1,181
緑ヶ丘公園	569	大坂西公園	448	ちょうまんびら公園	989
市営向川原団地	1,111	新坂下公園	986	七ツ塚公園	1,411
百草団地アポロ広場	1,405	都営日野栄町二丁目アパート	127	旭が丘地区センター ※1	2,984
水車公園	1,624	松風公園	902	〈注〉その他、団体貸出やイベント等での個人貸出冊数が合計232冊	
ほほえみ公園	1,143	南平丘陵公園	883		
小構コーポ佐野前	476	万願寺渡西公園	1,131	貸出総冊数	24,213

以下の数値は貸出総冊数から〈注〉分を差し引いた数値で算出した。

駐車場数	21カ所	延べ巡回回数	473回	一駐車場平均貸出冊数	1,142冊
年間利用者数	4,111人	一駐車場平均巡回回数	22.5回	一駐車場一巡回当たり	
貸出冊数	23,981点	平均利用者数	8.6人	平均貸出冊数	50.7冊

⑤ 団体貸出点数

区 分	一般図書	児童図書	CD・ビデオ	計
中央図書館	250	1,487	0	1,737
高幡図書館	93	1,318	0	1,411
日野図書館	25	905	0	930
多摩平図書館	28	4,177	8	4,213
平山図書館	122	1,132	0	1,254
市政図書室	0	0	0	0
百草図書館	16	1,051	0	1,067
移動図書館	1,766	21,434	0	23,200
計	2,300	31,504	8	33,812

※移動図書館は延べ169回巡回し、53団体が利用

<参考資料>

⑥ 図書館連携事業

日野市民の他市図書館利用	市 名	新規登録者	貸出冊数
	八 王 子 市	135 人	12,940 冊
	府 中 市	108 人	7,679 冊
	調 布 市	35 人	1,183 冊
	町 田 市	12 人	295 冊
	多 摩 市	189 人	33,397 冊
	稲 城 市	31 人	3,550 冊
	立 川 市	506 人	5,546 冊
	国 立 市	29 人	295 冊
合 計		1,045 人	64,885 冊
他市市民の日野市立図書館利用	市 名	新規登録者	貸出冊数
	八 王 子 市	346 人	52,545 冊
	府 中 市	20 人	764 冊
	調 布 市	2 人	59 冊
	町 田 市	7 人	728 冊
	多 摩 市	46 人	5,319 冊
	稲 城 市	1 人	193 冊
	立 川 市	56 人	696 冊
	国 立 市	54 人	465 冊
合 計		532 人	60,769 冊

(3) リクエストサービス(処理件数)

	図書			雑誌			視聴覚	合計
	所蔵	借用	小計	所蔵	借用	小計	所蔵	
中 央 図 書 館	14,155	1,405	15,560	1,764	120	1,884	73	17,517
高 幡 図 書 館	17,011	2,605	19,616	782	71	853	54	20,523
日 野 図 書 館	8,866	1,078	9,944	786	85	871	82	10,897
多摩平図書館	17,147	2,198	19,345	825	157	982	159	20,486
平 山 図 書 館	6634	807	7,441	1,068	15	1,083	36	8,560
市 政 図 書 室	659	99	758	132	11	143	9	910
百 草 図 書 館	6,688	737	7,425	413	42	455	87	7,967
移 動 図 書 館	1,357	95	1,452	72	0	72	0	1,524
ＯＰＡＣ全館	27,530		27,530	2,665		2,665	388	30,583
ＷＥＢ（注１）	339,504		339,504	32,636		32,636	2,861	375,001
合 計	439,551	9,024	448,575	41,143	501	41,644	3,749	493,968
上記受付数中、 電子申請(注2)による 受 付 数			2,260					2,260

注１）図書館のホームページを使ったリクエスト

注２）東京都及び市区町村が共同で組織する東京電子自治体共同サービスを使った電子申請によるリクエスト

<参考資料>

(4) 参考調査

① レファレンスサービス（文献調査）

区分	日野市 関係	多摩・東京 関係	地方行政 関係	一般 主題	計
中央図書館	347	204		527	1,078
高幡図書館	19	6		137	162
日野図書館	41	9		125	175
多摩平図書館	38	5		285	328
平山図書館	24	7		161	192
市政図書室	714	73	169	114	1,070
百草図書館	37	14		293	344
計	1,220	318	169	1,642	3,349

※地方行政関係は、市政図書室のみでカウント。他の館では一般主題と一緒にカウントしている。

② コピーサービス

館名	カラー枚数(枚)	白黒枚数(枚)	調定済金額(円)
中央図書館	1,155	26,718	313,380
高幡図書館	949	22,836	266,320
日野図書館	850	9,621	130,210
多摩平図書館	1,434	12,762	184,980
平山図書館	948	12,172	159,640
市政図書室	759	4,496	75,320
百草図書館	354	7,846	92,620
計	6,449	96,451	1,222,470

(5) 児童・青少年サービス

① おはなし会

(定例おはなし会)

会場	開催日	回数	参加人数(人)				
			0才 ～	3才 ～	小学生	小計	大人
中央図書館	毎月第4木曜日	10	77	—	—	77	76
	毎月第2水曜日	11	—	50	34	84	58
高幡図書館	毎月第1・3水曜日	21	80	65	44	189	136
日野図書館	毎月第3水曜日	11	—	—	100	100	82
多摩平図書館	毎月第2木曜日	11	159	—	—	159	150
	毎月第4水曜日	10	—	82	44	126	70
平山図書館	毎月第3木曜日	11	41	—	—	41	39
百草図書館	毎月第4金曜日	10	41	69	29	139	82

※おはなし会の開始時間

0～2歳児 午前10時30分～ (中央、多摩平、平山)

午後3時～ (高幡、百草)

3歳～ 午後3時30分～ (中央、高幡、多摩平、百草)

小学生以上 午後4時～ (日野)

(出張おはなし会)

訪問先	合計回数
17施設 (保育園・子育てひろば・児童館・学童クラブ・ 小学校・子ども家庭支援センター)	31回

<参考資料>

②「子ども読書の日」関連事業（おはなしピクニック）

行 事 内 容	開催月日	備 考
「としょかんおはなしピクニック 2019」 ※「市内在住児童文学作家荻田澄子さん のおはなしづくりワークショップ」他	4 月 21 日 (日)	多摩平の森ふれあい館 約 300 人参加（大人・子ども 合わせて）

③ 保護者向け本の紹介

開催月日	会 場	参加者数（人）
7 月 5 日（金）	百草図書館	6
10 月 15 日（火）	平山図書館	2
1 月 31 日（金）	中央図書館	10
合計		18

④ 読み聞かせ入門講座

行 事 内 容	開催月日	備 考
集団に対する読み聞かせの仕方、本の 選び方、参考図書の紹介、実習	5 月 10 日（金）	多摩平図書館 6 人
	6 月 7 日（金）	高幡図書館 11 人

⑤ 学校訪問

毎年、図書館職員が市内小学校の 3 年生のクラスを訪問し、市立図書館の利用案内・本の紹介・絵本のよみきかせ・昔話の語り等を行っている。

月・日	学校名	月・日	学校名
5 月 10 日（金）	日野第五小学校	9 月 26 日（木）	日野第七小学校
5 月 24 日（金）	南平小学校	12 月 12 日（木）	豊田小学校
5 月 30 日（木）	潤徳小学校	12 月 20 日（金）	日野第三小学校
5 月 31 日（金）	夢が丘小学校	1 月 9 日（木）	日野第八小学校
6 月 14 日（金）	日野第一小学校	1 月 17 日（金）	平山小学校
7 月 5 日（金）	日野第六小学校	3 月 12 日（木）	東光寺小学校
8 月 28 日（水）	日野第四小学校	3 月 13 日（金）	仲田小学校
9 月 12 日（木）	七生緑小学校		

⑥ 学校へ貸出・搬送（学校搬送便）

市内小中学校からの要望に応じて、授業内容に沿った資料や読書指導に必要な図書を貸し出し、搬送している。

のべ搬送回数（回）	貸出冊数（冊）
148	6,787

⑦「本の森」学級文庫配本

子ども読書活動推進のため、小学校全学年へ読み物を中心とした図書セットを配本している。

のべ配本回数（回）	貸出冊数（冊）
51	16,102

⑧ 中学生の職場体験学習

行事名	開催日	実施館	備 考
職場体験	随時	中央・高幡・日野・ 多摩平・平山・百草	のべ 15 校 41 人

⑨ ジュニア・スタッフ（小学 5・6 年生、中学生）

夏休みに図書館の仕事体験事業を行っている。

開催日	実施館	人数
7 月下旬と 8 月上旬の 4 日間 （中央・日野・平山・百草は 2 日間）	中央・高幡・日野・ 多摩平・平山・百草	13 人

<参考資料>

⑩ 来館（施設見学、おはなし会等）

行 事 名	開催日	実施館	備考
小・中学校	随時	中央・高幡・日野・多摩平・平山・百草	15 校
その他	随時	中央・高幡・多摩平	25 団体

⑪ 市立幼稚園・保育園等への配本

幼稚園・保育園に対し、年齢に見合った図書を選定・配本し、読書活動の推進を図っている。

延べ配本回数（回）	貸出冊数（冊）
48	2,600

⑫ 健康課主催ママパピクラスにて図書館案内と関連図書紹介

開催日	会 場
5・9・10・3月を除く 各月（8回）	生活・保健センター

⑬ ボランティア懇談会

開催日	会 場	備 考
10月1日（火）	多摩平の森ふれあい館	11 団体 1 個人 19 人参加

※2 月は新型コロナウイルス対策のため中止

⑭ 青少年読書活動事業 「ヤングスタッフ事業」

青少年が自ら企画・立案し、イベントの開催、推薦図書リストの作成等を行った。
公募により、市内在住・在学の大学生・高校生が参加。

行 事 名	開催月日	備 考
「としょかんおはなしピクニック 2019」への参加 活動紹介展示・本の展示・ワークショップ（ペーパークラフト）	4 月 21 日（日）	・活動紹介ポスターの展示や発行物の配布 ・「受け継がれる物語 懐かしい本 part2」をテーマに展示 ・「おさかなつくろう！工作コーナー」 会場：多摩平の森ふれあい館 スタッフ 6 人
実践女子大学「第 4 回 本の交流会」	5 月 19 日（日）	・実践女子大学図書館を見学、学生と本の話を通じて交流した 会場：実践女子大学 スタッフ 4 人、学生 4 人
市内大学連携事業 「実践女子大学常磐祭」本の展示	11 月 9 日（土） 11 月 10 日（日）	・「始まり」をテーマに本の展示 ・日野ヤングスタッフが作成したブックリストなどを配布 会場：実践女子大学 図書館
市内大学連携事業 「実践女子大学常磐祭」ビブリオバトル	11 月 10 日（日）	・大学図書館の学生スタッフと共同でビブリオバトルを開催 会場：実践女子大学 ヤングスタッフ 6 人、学生 5 人、観戦者 75 人

※「BOOK パレード in 日野市立大坂上中学校（3 月 3 日（火）予定）」は
新型コロナウイルス対策のため中止

⑮ 中学生と作家の交流事業

中学生が本に親しみ、自ら読書の楽しさを発信する活動を支援。

開催日	会 場	講 師	参加者（人）
11 月 4 日（月・祝）	多摩平の森ふれあい館（集会室 6）	米澤 穂信氏	112

< 参考資料 >

(6) 障害者サービス

① 利用者、音訳点訳登録者、点字図書、拡大写本、対面朗読数

利用者数		音訳者	点訳者	点字図書			拡大写本		対面朗読		
個人	団体			作成 枚数	貸出		作成 枚数	貸出 タイトル数	件数	のべ 時間	のべ音 訳者数
					タイトル数	巻数					
223	12	40	14	6,500	394	533	0	0	98	283	189

② 録音図書の作成・貸出数

作 成						貸 出					
テープ図書		DAISY 図書		合 計		テープ図書		DAISY 図書		合 計	
タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数
0	0	47	47	47	47	108	516	3,603	3,603	3,711	4,119

③ 相互貸借の貸出・借用数

貸 出						借 用					
テープ図書		DAISY 図書		点字図書		テープ図書		DAISY 図書		点字図書	
タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数
0	0	7,360	7,360	4,859	4,862	74	482	1,112	1,112	111	239

④ 宅配による貸出数

利用者数	回 数	貸出図書冊数
39	384	2,006

⑤ 講習会開催数

講 習 名	講 師	開催回数	開催場所	受講者 (人)
音訳者講習会 (中級)	成毛 由紀子氏	3 回	多摩平の森ふれあい館	34

⑥ 出張点字授業

点字や視覚障害者についての理解を深めるため、市内小学校4年生のクラスを訪問している。

訪問日	学校名	クラス数
9月3日 (火)・4日 (水)	豊 田 小 学 校	4
9月10日 (火)・11日 (水)	潤 徳 小 学 校	3
10月3日 (木)・8日 (火)	日 野 第 四 小 学 校	3
10月10日 (木)・11日 (金)	旭 が 丘 小 学 校	3
10月24日 (木)	夢 が 丘 小 学 校	2
10月29日 (火)・30日 (水)	東 光 寺 小 学 校	3
1月29日 (水)・30日 (木)	南 平 小 学 校	3
合 計	7 校	21 クラス

2 刊行資料

資料名 (1回当たりの発行部数)	発行回 (回)	発行部数
館報「ひろば」	12	18,624
新聞記事速報 (1回あたり 230 部)	240	55,200
資料の広場 (1回あたり 180 部)	7	1,260

<参考資料>

3 視聴覚ライブラリー

(1) 視聴覚機材、16ミリフィルム保有数及び貸出数

資料・機材名	保有数	貸出数
16ミリ映写機	1	0
8ミリ映写機	1	1
スライド映写機	1	0
スクリーン	8	1
暗幕	19	17
16ミリフィルム	60	0

(2) 16ミリ映写機検定

項 目	開催日	検定台数	会 場
16ミリ映写機検定	9月2日(月)	4台	中央図書館

4 インターネットサービス

(1) ホームページアクセス件数 625,074件

(アクセスカウント方法を一般的に普及している GoogleAnalytics へ変更したことにより数値の変動が大きかった)

(2) パスワード発行数 2,275件

(3) メールアドレス登録者数 (累計) 18,485人

予約した資料の用意ができたお知らせ等を送信している。
令和元年12月より、資料返却のお知らせも送信開始した。

(4) インターネット検索パソコン利用回数

インターネットの情報を図書館でも検索できるように、各館にインターネット端末を設置している。

中央	レファレンス	高幡	日野	多摩平	平山	市政	百草	合計
594	657	765	659	1,815	396	132	361	5,379

(5) 持込PC用電源利用受付数

中央	レファレンス	高幡	日野	多摩平	平山	市政	百草	合計
-	415	247	55	498	69	-	28	1,312

5 テーマ展示

本との出会いを生む取組として、テーマごとに蔵書の紹介をしている。

(1) 中央図書館

	テーマ
4月	ちょっと気になるインターネット
5月	新緑と遊ぼう
6月	お悩み相談室
7月	エコで楽しく快適に【環境】
8月	戦争と家族の暮らし【平和】
9月	【自殺予防週間】
10月	東京・日野 いまむか【東京おもてなし】
11月	こまったときには ミニ展示 税金に関する本
12月	片づけの本
1月	健康法
2月	さよなら
3月	ちょっと一休みの本

(2) 高幡図書館

	テーマ
4月	いろいろな本の顔
5月	土方歳三没後 150 年
6月	【環境】
7月	星に願いを
8月	【平和】
9月	あかちゃんってね
10月	楽しむ東京【東京おもてなし】
11月	幻想の住人たち
12月	GIFT～贈り物の本
1月	【子育て支援】
2月	インドアを楽しもう
3月	逃げ出したくなったら

(3) 日野図書館

	テーマ
4月	あの人の本棚
5月	子育て小説【子育て支援】
6月	乗り物小説
7月	ひんやりする本～いろいろな意味で・・・～
8月	聴く力【平和】
9月	知って不安をやわらげる【認知症】
10月	東京の道草【東京おもてなし】
11月	地球温暖化と災害【環境】
12月	映画を見たいくなる本
1月	中央線ものがたり
2月	ただいま部活中
3月	科学の入門

(4) 多摩平図書館

	テーマ
4月	春を楽しむ本
5月	環境問題を考える本【環境】
6月	時よ止まれ！～時間の本
7月	夜空
8月	人の権利、共存する社会【平和】
9月	いよいよ開幕！ラグビーワールドカップ
10月	こころをつなげる【東京おもてなし】
11月	11月は児童虐待防止推進月間です
12月	冬の彩り
1月	新たな角度で世界を見る
2月	ねむり
3月	ゆる～りゆったりしてみませんか

<参考資料>

(5) 平山図書館

	テーマ
4月	平成の天皇・皇室
5月	新選組 土方歳三
6月	【食育】
7月	多摩地域の出版社が発行した図書
8月	戦争を忘れない【平和】
9月	【認知症】
10月	東京を歩く【東京おもてなし】
11月	【児童虐待防止】
12月	クリスマス正月を迎える
1月	ある人の生涯を描いた絵本
2月	農業
3月	新生活に向けて

(6) 百草図書館

	テーマ
4月	あなたの好きな画家は？
5月	夢の世界一周
6月	作家との出逢い
7月	海・水
8月	平和を築く人々【平和】
9月	【認知症】
10月	オリンピックを彩る人々【東京おもてなし】
11月	世界のお料理
12月	バリアフリーを考える
1月	ぽかぽかぬくぬく心も体もあたたかく過ごす
2月	落語・笑い
3月	言葉の贈り物～エール～

6 日野宿発見隊

活動内容	開催月日	会 場	参加者数等
日野宿発見隊第 89 弾 「スタンプラリー in 日野宿 2019」	5 月 11 日（土）	日野宿内	628 人
日野一中生徒会とコラボして用水清掃	7 月 11 日（木）	日野第一中学校内および日野第一中学校前用水	86 人
日野宿発見隊第 90 弾 「夏休み！親子で調べよう日野用水」	7 月 27 日（土）	新東光寺地区センター前用水	37 人
日野宿発見隊第 91 弾 「日野駅 130 年よもやま話の集い」	8 月 24 日（土）	ギャラリー&カフェ大屋	16 人
日野宿発見隊第 92 弾 「八坂の祭り写真展」	9 月 1 日（日）～ 30 日（月）	八坂神社玉垣ほか	
日野宿発見隊第 93 弾 「まちかど写真館 in ひの 祝・日野駅 開業 130 年」	1 月 1 日（水・祝） ～3 月 29 日（日）	日野駅改札外東側歩道	
日野宿発見隊通信第 17 号発行	3 月 26 日（木）	日野第一小学校、東光寺小学校、 仲田小学校学区内自治会配布	500 部

※日野宿発見隊第 94 弾 まち歩き会「線路沿いを歩く～微に入り細に入り～」

（3 月 20 日（金・祝）予定）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期

<参考資料>

7 本を通じた交流の企画

(1) はじまりの読書会 2019

	開催日程	とりあげた本	会 場	講 師
第1回	9月27日(金)	『鉄道員』 浅田 次郎／著	高幡図書館読 書会室	青木 笙子氏
第2回	10月18日(金)	『神去なあなあ日常』 三浦 しをん／著		
第3回	11月15日(金)	『羊と鋼の森』 宮下 奈都／著		
第4回	1月17日(金)	『博士の愛した数式』 小川 洋子／著		
第5回	2月21日(金)	『二十四の瞳』 壺井 栄／著		

※参加者数：17人

(2) 移動図書館ひまわり号が参加したイベント等

開催日	イベント名
8月14日(水)	中央図書館駐車場にて移動図書館を利用開放
9月17日(火) 11月20日(水)	発達・教育支援センター「エール」を訪問
11月10日(日)	実践女子大学学園祭「常磐祭」に参加
12月18日(水)	しせい太陽の子保育園を訪問

8 その他

(1) リサイクル図書配布

配布先	施設数等	配布数(冊)
児童施設	27	412
小中学校	12	762
市他部署	1	1
その他	1	53
イベント	2回	3,466
個人	—	23,642
計		28,336

(2) 実習生(大学生以上)受入

期 間	団体・学校名	学年等	目 的	人数(人)
8月7日(水) ～18日(日)	明星大学	4年生	図書館実習	2
8月14日(水) ～16日(金)	旭が丘小学校	教諭	教員10年研修	1
2月18日(火) ～3月1日(日)	東京学芸大学	3年生	図書館実習	1
2月25日(火) ～26日(水)	日野第一中学校	教諭	教員10年研修	1

＜参考資料＞

Ⅱ．日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱

平成 21 年 3 月 31 日
制定

（目的）

第 1 条 この要綱は、図書館法（昭和 25 年法律第 118 号）第 7 条の 3 に規定する、
図書館の運営の状況に関する評価等に関し、必要な事項を定めるものとする。

（点検及び評価の対象）

第 2 条 日野市立図書館（以下「図書館」という。）は、毎年 1 回、図書館の運営状況
について評価を行う。

（評価の方法）

第 3 条 図書館は、図書館協議会の意見を聞きながら、評価を行うものとする。

（教育委員会への報告書の提出）

第 4 条 図書館は、評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出する。

（評価結果の公表）

第 5 条 図書館は、評価の結果を市民に公表する。

（評価結果の活用）

第 6 条 図書館は、評価の結果に基づき、その運営の改善に努めるものとする。

（庶務）

第 7 条 評価に関する庶務は、図書館庶務整理係において処理する。

（委任）

第 8 条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、図書館長
が別に定める。

付 則

この要綱は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

< 参考資料 >

Ⅲ. 図書館協議会委員名簿

《 第 2 8 期図書館協議会委員 》

委員長	田代 守		社会教育の関係者
副委員長	紺野 順子		学識経験者
委員	大杉 宏光		社会教育の関係者
委員	福島貴美江	平成 31 年 3 月 31 日まで	学校教育の関係者
	沼田 忠晶	平成 31 年 4 月 1 日から	
委員	秋野 宏之		学校教育の関係者
委員	黒川 洋美		家庭教育の向上に資する活動を行うもの
委員	田中 正昭		公募による市民
委員	菊地 恵子		公募による市民

任期 自 平成30年4月15日
至 令和 2年4月14日

《 第 2 9 期図書館協議会委員 》

委員長	田代 守		社会教育の関係者
副委員長	紺野 順子		学識経験者
委員	山口 洋		学識経験者
委員	栗沢稚富美		社会教育の関係者
委員	山口 早苗		学校教育の関係者
委員	秋野 宏之		学校教育の関係者
委員	黒川 洋美	令和2年6月15日より	家庭教育の向上に資する活動を行うもの
委員	田中 正昭		公募による市民
委員	遠藤 寛靖		公募による市民

任期 自 令和 2年4月15日
至 令和 4年4月14日

令和２年度
日野市立図書館の運営の
状況に関する評価書

(令和元年度事業)

くらしの中に図書館を

令和２年９月

日野市立図書館

〒191-0053 東京都日野市豊田 2-49-2

電話 042-586-0584